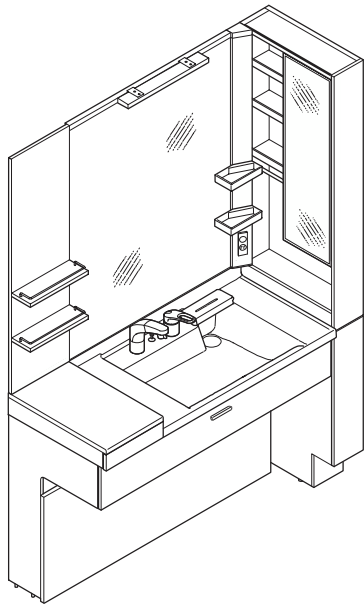
LIXIL

INAX

洗面化粧台
ミズリア
MR

取扱説明書

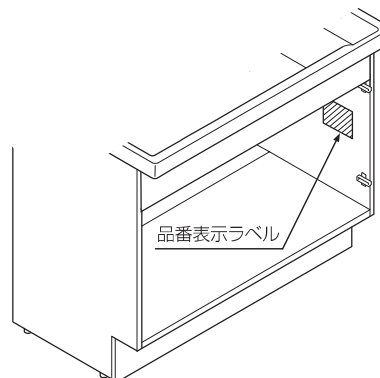
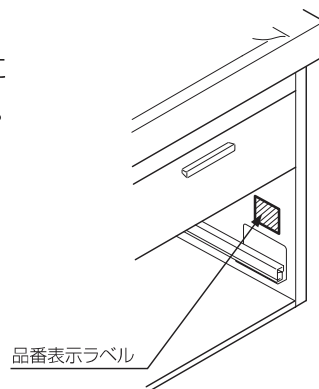
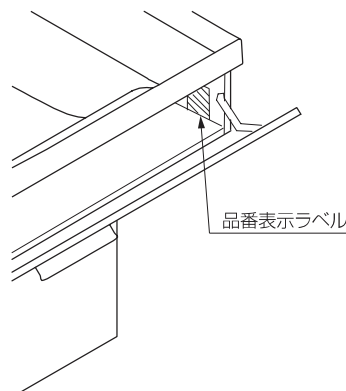
このたびは当社商品をお買い求めいただき誠に
ありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しく
安全にお使いください。
※取扱説明書にはご使用方法などを掲載しています。
　お手入れの内容は別冊「お手入れガイド」に
　掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※この取扱説明書とお手入れガイド、水栓・機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せるところへ保管してください。
※転居される場合、次に入居される方にこの説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者さまへ
取扱説明書と**お手入れガイド**は必ずお客さまにお渡しください

保証書付

品番を調べる

本体に貼ってあるラベルを見る

洗面化粧台（扉・引出タイプ）
扉を開けて、キャビネット内部の右側面に貼ってある
品番表示ラベルで品番を確認してください。

洗面化粧台（フルスライドタイプ）
下段の引出しを引き出し、キャビネット内部の右側面に
貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。

洗面化粧台（ニースペースタイプ）
扉を開けて、キャビネット内部の右側面に
貼ってある品番表示ラベルで品番を確認し
てください。

その他のキャビネット
キャビネット本体内部の側面に貼ってある
品番表示ラベルで品番を確認してください。

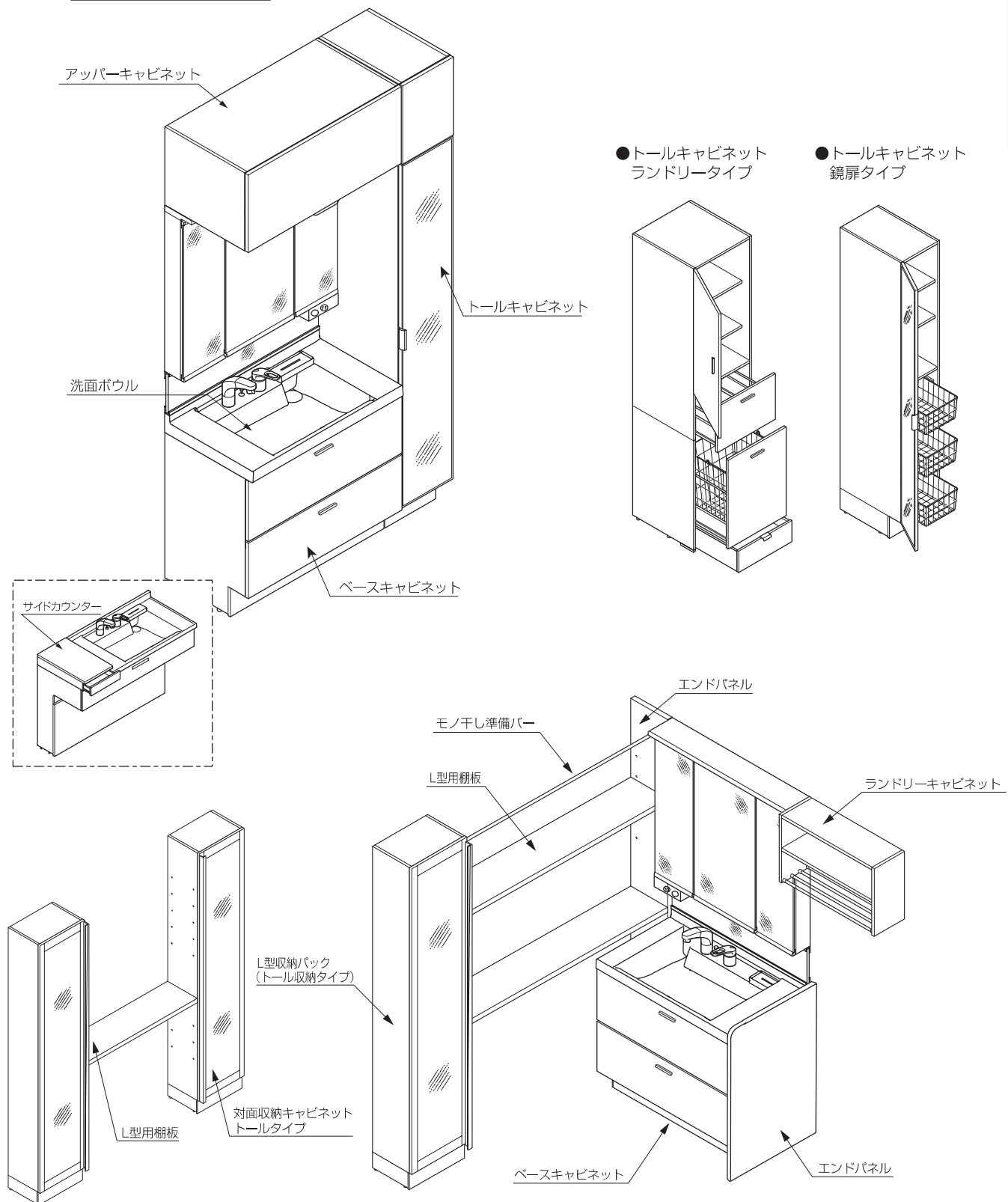
例）洗面化粧台品番表示ラベル

品番
GR1N-755SY-A/QH2G
製造番号
A0101-091500001

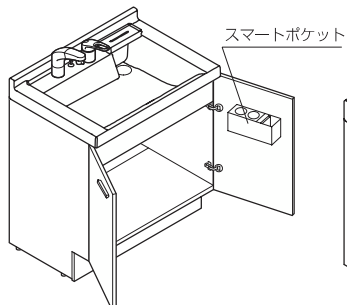
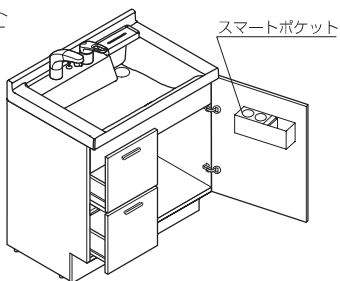
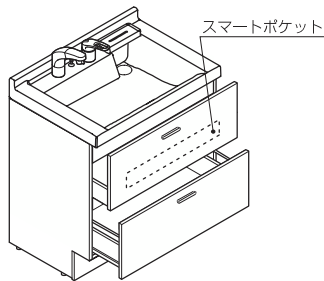
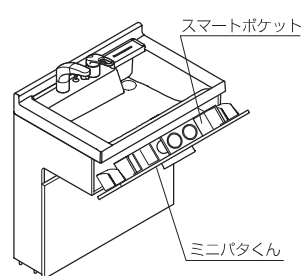
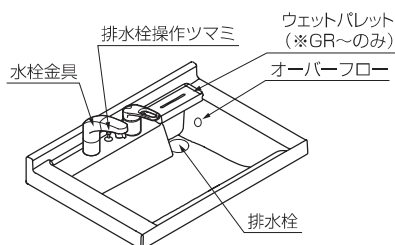
修理のご依頼は、
お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター
0120-1794-11
http://www.i-mate.co.jp
株式会社 LIXIL

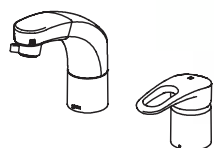
各部のなまえ

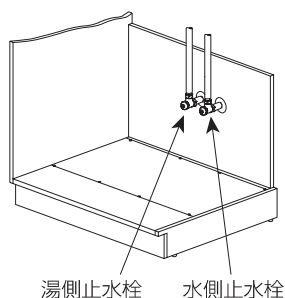
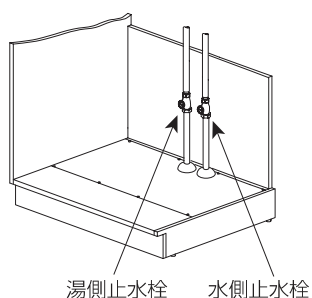
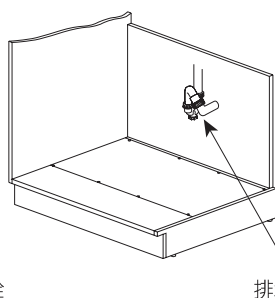
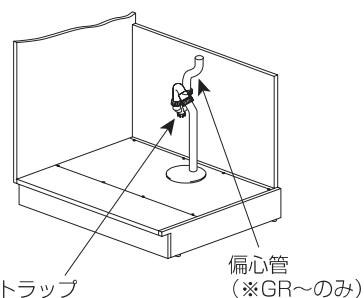
・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

キャビネットの名称

化粧台の種類

※スマートポケットのないタイプもあります。

●扉タイプ

●引出タイプ

●フルスライドタイプ

●ニースペースタイプ

洗面部分の名称

水栓金具の名称と品番

●シングルレバー洗髪シャワー水栓 SF-810SY-MB3（一般地仕様） SF-810SYN-MB3（寒冷地仕様）	●シングルレバー混合水栓 LF-B340SYC-MB3 （一般･寒冷地仕様）	●シングルレバー混合水栓 LF-E340SYC-MB3（一般地仕様） LF-E340SYCN-MB3（寒冷地仕様）	●吐水口引出式 シングルレバー混合水栓 LF-E345SYC-MB（一般地仕様） LF-E345SYCN-MB（寒冷地仕様）	●シングルレバー洗髪シャワー水栓 SF-500SY-MB6（一般地仕様） SF-500SYN-MB6（寒冷地仕様）

配管部分の名称

●壁給水

●床給水

●壁排水

●床排水

ソコまでてまなし排水口について

「ソコまでてまなし排水口」のしくみ

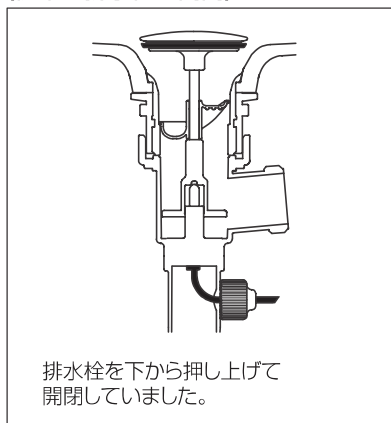
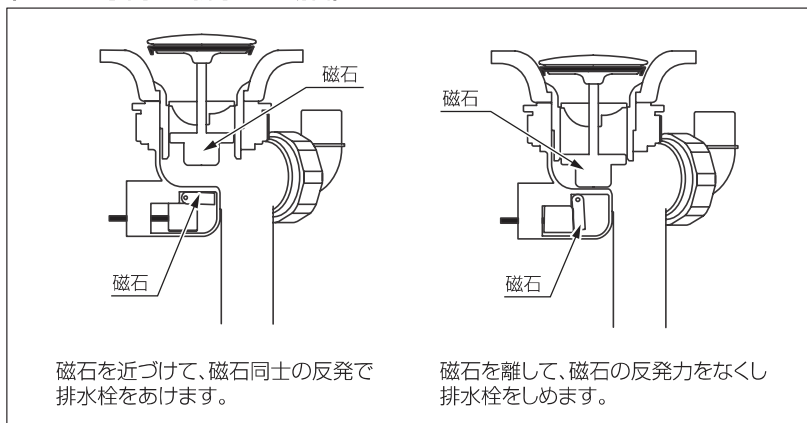
磁石の反発力を利用して排水栓の開閉を行うことで、従来は開閉のために必要であった機構部の突起がなくなり、排水口内を簡単に拭き掃除できる形になりました。

〈従来の排水栓の開閉〉

排水栓を下から押し上げて開閉していました。

〈ソコまで手間なし排水口の場合〉

磁石を近づけて、磁石同士の反発で排水栓をあけます。

磁石を離して、磁石の反発力をなくし排水栓をしめます。

※排水栓は排水口内で浮いています。使用中にゆれる事がありますが、故障ではありません。

「ソコまでてまなし排水口」搭載品番

ベースキャビネットの品番が「GR1」で始まる品番が対象です。

ご使用時の注意

- ●心臓ペースメーカーなどの電子医療機器を装着した人に排水栓を近づけないでください。安全性の確認については、電子医療機器の取扱説明書をご覧ください。
- ●排水栓と磁石または排水栓と鉄片などの磁性体の間には、非常に強い吸着力が働きます。手指や体の一部分を挟まれないよう、十分ご注意ください。
- ●排水栓を磁気カードなどの磁気記録媒体に近づけると、データが破壊されて使用できなくなる恐れがあります。また、パソコン、テレビ画面、電子腕時計等の精密電子機器に近づけると故障の原因になる可能性があります。
- ●排水栓を他の磁石にくっつけないでください。磁力の強さ、磁石の種類によっては、磁力が低下し機能を十分果たさなくなる可能性があります。
- ●排水栓に鉄粉や鉄片を付着したままにしないでください。サビの原因になり、排水栓の動きも悪くなります。
- ●排水栓の操作を勢いよく行わないでください。排水栓が飛び出す恐れがあります。
- ●大量に泡を流すと泡の種類によってはオーバーフロー穴から泡が出ることがあります。

お手入れ方法

■日々のお手入れ

排水栓の磁石部に鉄粉や鉄片が付着している場合は、乾いた布などで付着物をつまみ取るように取り除いてください。変色や作動不良の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご覧のうえ、ご使用ください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告**・・・・・・・・・この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意**・・・・・・・・・この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

・・・・・・・・・この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

・・・・・・・・・この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

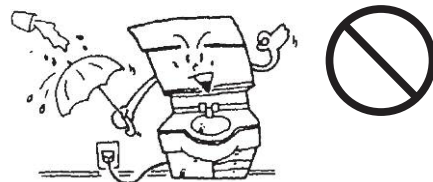
・・・・・・・・・この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

・・・・・・・・・この絵表示は触っていけない「禁止」の内容です。

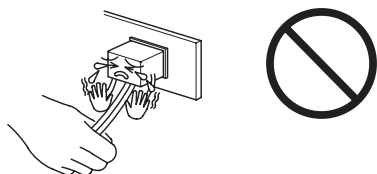
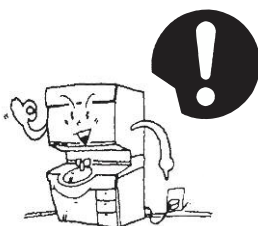
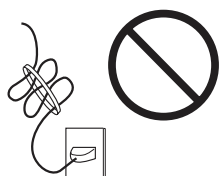
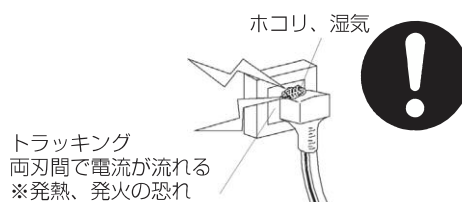
・・・・・・・・・この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

・・・・・・・・・この絵表示は電源プラグをコンセントから抜いていただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

スイッチやコンセント、電源プラグなどの電気部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。
※漏電や感電の恐れがあります。

改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※感電や発熱・発火による火災の恐れがあります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときはコード部分を引っ張らない。必ず先端のプラグ部分を持って引き抜いてください。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。

電源は必ず適性配線された専用の100Vコンセントから取ってください。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。

電源コードは束ねたまま使用しない。必ず延ばした状態でご使用ください。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。

電気機器の電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた布でホコリや湿気をふき取ってください。
※ホコリや湿気がたまると、トラッキングによる火災の恐れがあります。

扉が傾いたりガタついている場合は、扉の調整や付けなおしを行ってください。
※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。（扉の調整・取付けは27～28ページをご覧ください。）

商品がガタついたり破損や故障した場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。
※使用を続けると、より大きな損害を引き起こしたり、ケガをする恐れがあります。（40ページをご覧のうえ修理・点検を依頼してください。）
※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中止の際に必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。
※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしない。
※金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

⚠ 注意

キャビネット内では塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意してください。

※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや、扉・引出しの開閉動作不良の原因になります。
塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉めてください。
キャビネットや容器に付着した場合は、すぐにふき取ってください。

排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。

※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。

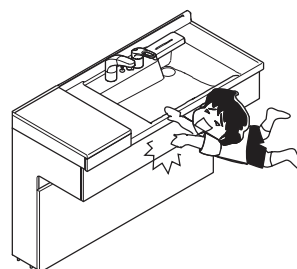
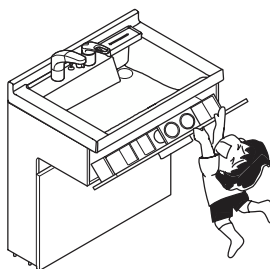
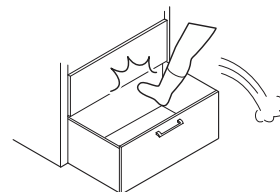
除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、芳香剤、洗剤などが付着したまま放置しない。

※化粧品や洗剤の中に樹脂（プラスチック）に悪影響を与えるものもあります。

※放置するとヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。すぐにふき取ってください。

●カウンターや引出しに乗ったり、開いた扉、取っ手などにぶら下がったりしない。

●ニースペースタイプキャビネットの手前に乗ったりぶら下がったりしない。

※無理な力をかけると部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

鏡やアルミ枠扉に手をついたり、たたいたりしない。

※無理な力をかけると、鏡や樹脂板が割れてケガをする恐れがあります。

扉を大きく開けすぎない。

※扉が外れてケガをする恐れがあります。

凍結が予想される場合は、つぎの対策を実施してください。

●水抜栓がない場合…水栓金具から少量の水を出したままにしてください。

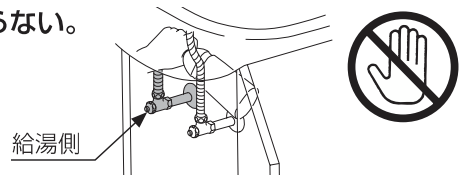
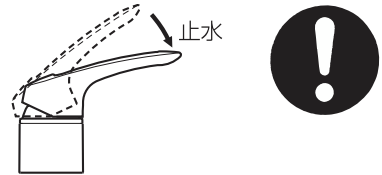
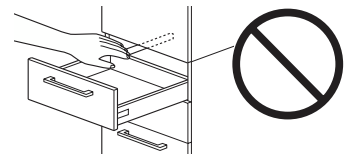
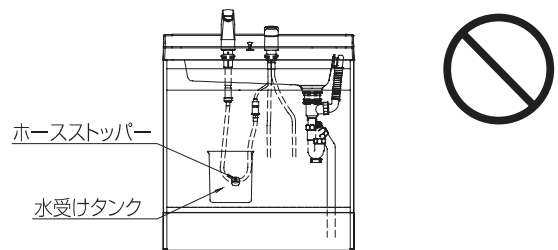
●水抜栓がある場合…建築側配管と水栓金具の水抜操作を行ってください。（33ページ参照）

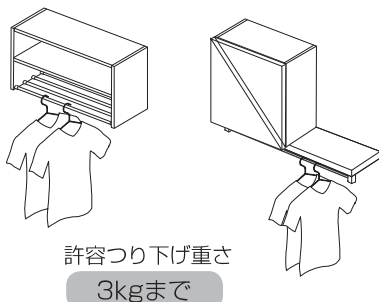
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、拡大損害発生の恐れがあります。

水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

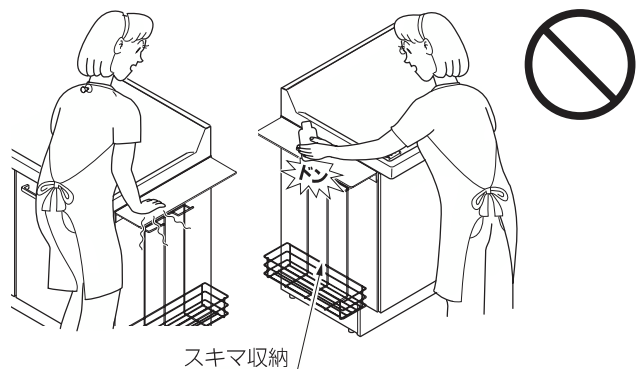
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。

⚠ 注意

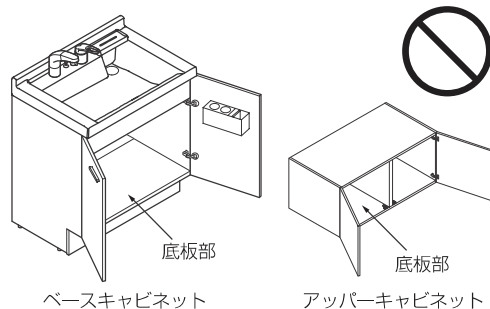
お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。
※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。

断水時は水栓金具のハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。
※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。

キャビネットのレールや蝶番に触らない。
※指を挟んだり、金具でケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時は特に注意してください。

水栓金具のホースストッパーは位置をずらさない。
※ずらすと水受けタンクにホースがおさまらず、ホースが出し入れしにくくなったり、キャビネット内をぬらす恐れがあります。

- **モノ干し準備バーやランドリーキャビネットのタオル掛、ハンガーにぶら下がったり、掛けたタオルなどを強く引っ張ったりしない。**
- **許容つり下げ重さを守って使用してください。**

※バーが破損・変形して落下し、ケガをする恐れがあります。

- **スキマ収納は許容積載量を守ってご使用ください。棚板、ラックの許容積載量は5kgまでです。**
- **物を乗せるときは、勢いよく乗せないでください。**
- **棚板には手をついて体重をかけないでください。**

※カウンター、ラックが破損・落下しケガをする恐れがあります。
※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。

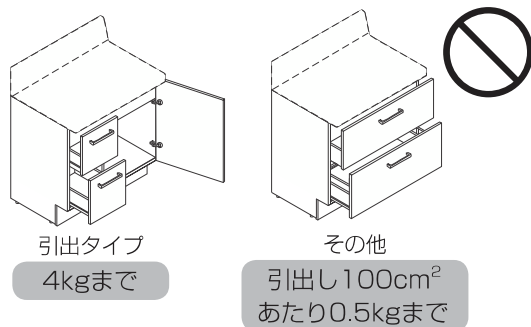
⚠ 注意

●底板部にものを入れすぎない。ベースキャビネット、アッパーキャビネットの許容積載量10kgです。許容積載量を守ってご使用ください。

※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。

※底板がたわみ、収納物が倒れるなどして思わぬ被害の原因になる恐れがあります。

●引出しにものを入れすぎないでください。

※引出しが出し入れしにくくなったり、レールが故障する原因となったり、またケガをする恐れがあります。

許容積載量
引出タイプ：1段あたり4kg以下
その他：引出底面100cm²あたり0.5kg以下

※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。

●棚やトレイに物を乗せすぎない。許容積載量を守ってご使用ください。

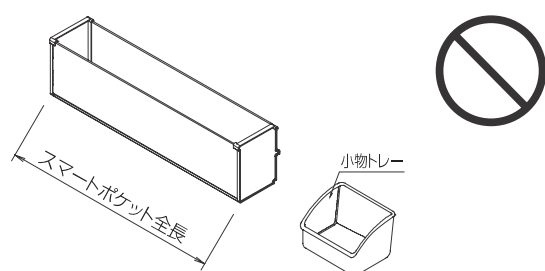
※棚などが破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

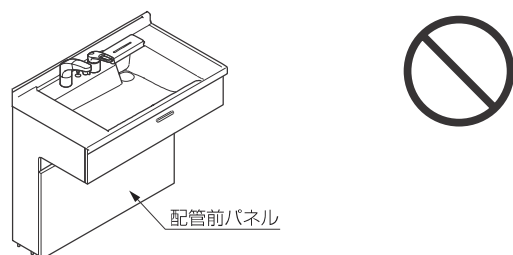
許容積載量
10cm×10cm(100cm²)あたり0.5kg以下

※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。

●スマートポケットに物を入れすぎない。許容積載量を守ってご使用ください。

※収納物が倒れるなどして思わぬ被害の原因になる恐れがあります。

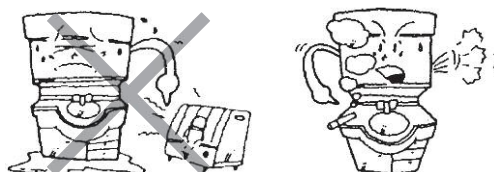
スマートポケット全長(cm)	許容積載量(kg)
19.7～29.7	0.5
34.7～47.5	1.0
59.7～62.5	1.5
72.5～74.7	2.0
84.7～104.7	2.5
小物トレー1個あたり	0.2

●ニースペースキャビネットで、配管前パネルを外したまま使用しない。

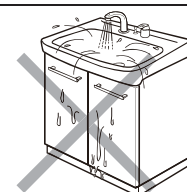
※配管類に足がふれてヤケドをする恐れがあります。また配管を足でけって破損し、漏水する恐れがあります。

使用時のご注意

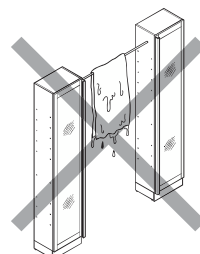
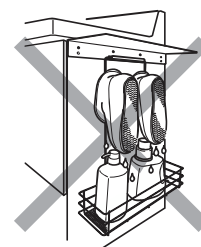
故障をおこさないためにお守りください

お願い

ヒーターなどの熱源やタバコ･マッチなどの火気を近づけない。

※変形やコゲ跡がつく原因となります。

キャビネットやサイドカウンターに水などをこぼさない。
ぬれたらすぐにふき取ってください。

※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部もふき取ってください。
※木質でできていますので水を含んでふくらんだり、表面材がはがれる原因となります。
※アルミ枠扉の樹脂板が水を含むと変形する場合があります。

- **モノ干し準備バーやランドリーキャビネットのタオル掛に、洗濯物をかける際は、水気を出来るだけ落としてください。**
- **スキマ収納のラック部にバスブーツを収納する際は、水気を出来るだけ落としてください。**

※周囲のキャビネットが水を含んでふくらんだり、表面がはがれる原因となります。

L型収納キャビネット

スキマ収納

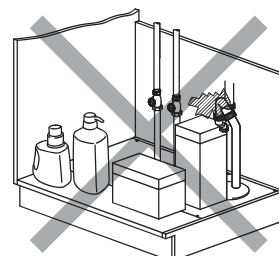
直射日光やスポット照明　、殺菌灯などを当てない。

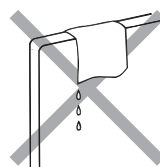
※変色や変形の原因となります。直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。

カウンターや洗面器に固いものを落とさない。

※キズやヒビ割れ 、破損の原因となります。

キャビネットの中にものをたくさん入れすぎないでください。

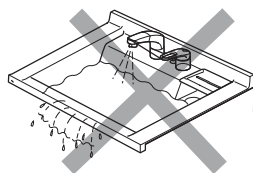
※収納物が配管に当たり、漏水する恐れがあります。
※引出しから収納物が後ろに落下して破損したり、配管に当たって漏水する恐れがあります。

エンドパネルにぬれたタオル等を掛けない。

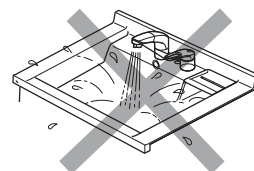
※長時間ぬれたまま放置すると、ふくれたり剥がれたりする恐れがあります。

お願い

除光液、化粧品、整髪料、毛染め剤、脱色剤、うがい薬、漂白剤、酸性洗剤などが付着したまま放置しない。すぐにふき取ってください。

※放置すると変色や変形、ヒビ割れの原因となります。

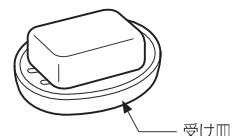
水ためは「整流」で行ってください。

※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる場合があります。

水はねが多い場合は吐出流量を調整してください。

※調整方法は26ページをご覧ください。

排水器具のレリーズワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしないでください。
また、収納物が接触しないよう気をつけてください。

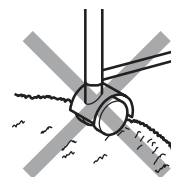
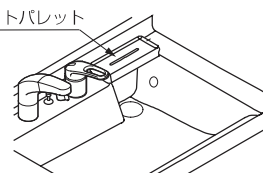
※レリーズワイヤーが切断、破損して、排水栓が開閉できなくなる場合があります。

- **カウンターや洗面ボウルに直接石けん置かないでください。必ず受け皿を使用してください。**
- **ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、こまめにふき取ってください。**

※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、カウンターが変色したり光沢がなくなる恐れがあります。

当社品以外の吸盤付きタオル掛、吸盤付石けん置きなどを使用しないでください。

※カウンターやキャビネットに吸盤を貼ると、貼った周辺が変色する場合があります。

けこみ収納、トールキャビネット（ランドリータイプ）の前および下にカーペットやバスマットを敷かないでください。

※キャスターに糸がからみ、引出しやワゴンが動きにくくなる恐れがあります。

ウェットパレットがすべりやすい場合は、ウェットパレットとカウンターの接する面を清掃してください。

ご使用方法

水・湯を使う

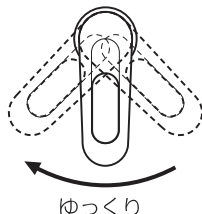
詳しくは水栓金具に付属の説明書をご参照ください。

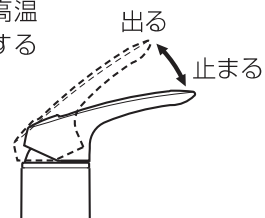
⚠ 注意

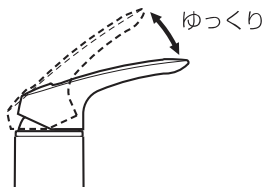
水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったりして無理な力をかけない。

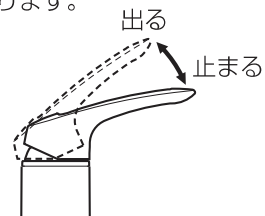
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。

湯を使うときは、水を出しながらレバーハンドルをゆっくりと水側から湯側へ回してください。

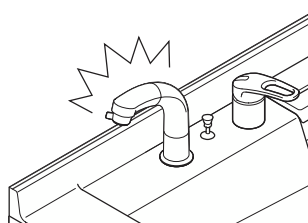
※急に回すと湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。

高温のお湯を使った後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。

※次に使うときにいきなり高温のお湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

レバーハンドルはゆっくり操作してください。

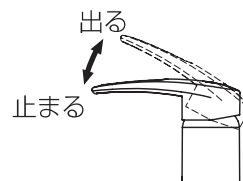
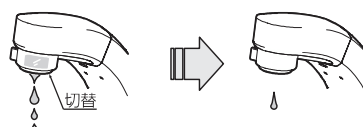
※急に開閉すると、急激な圧力変動により配管が破損し、漏水や家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。

断水時は水栓のハンドルを止水の位置にしてください。

※ハンドルが吐水位置のままで断水が終了すると水があふれ、漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

⚠ 注意

吐水口部を回転させる際には、鏡に当たらないようゆっくり操作してください。

※吐水口部は360゜回転します。急に回転すると、吐水口に鏡があたり、キズつく恐れがあります。

シングルレバーシャワー水栓（SF-810SY（N）-MB3）の場合
シングルレバーシャワー水栓（SF-500SY（N）-MB6）の場合

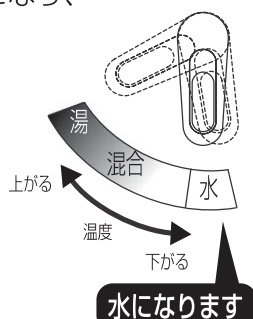
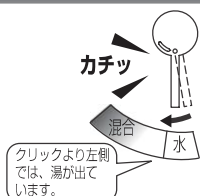
■湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると左右どの位置にあっても止水します。

レバーハンドルを閉じて水を止めた後に少しの間水が垂れますが、故障ではありません。
※構造上、切替の内部に溜まった少量の水が排出されます。

■温度を調節する

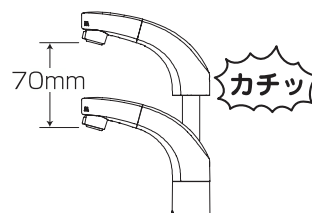
レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。

ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

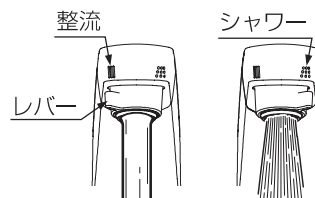
⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※ 次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

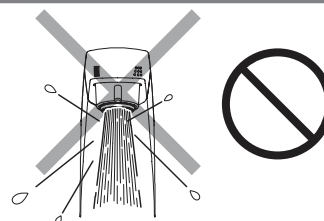
■吐水口の高さを変える

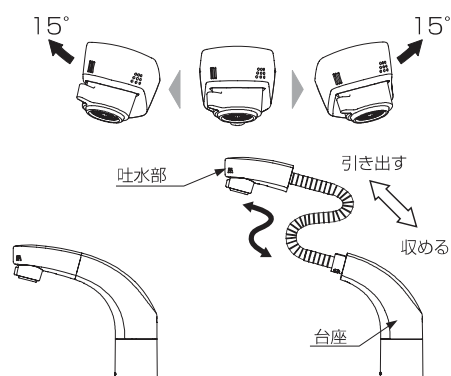
吐水口部を握って、上または下に動かします。
上げる……カチッと音がするまで引き上げます。（約70mm上がります）
下げる……完全に下まで降ろします。

⚠ 注意

吐水口は一番上または一番下の高さでご使用ください。
※途中の位置でご使用されますと、カウンター下へ水が侵入したり、一番上の高さで固定できなくなることがあります。

■整流吐水、シャワーを切り替える

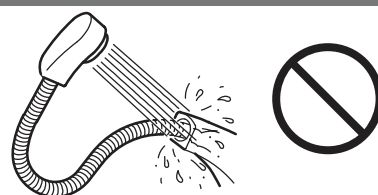
切り替えは止水した状態でおこなってください。
整流吐水使用の時：吐水口のレバーを左側に動かす。
シャワー使用の時：吐水口のレバーを右側に動かす。

ワンポイント

レバーは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替えてください。
※中間位置で吐水すると、吐水が乱れて周囲に水が飛び散りますのでご注意ください。

■吐水口の向きを調節する

吐水口のヘッド部分を回すと、吐水口の向きが変わります。
左右15°ずつ、計30°回転します。
お好みの角度でご使用ください。

■吐水部を引き出す

吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ずもとにもどしてください。

⚠ 注意

吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

シングルレバー混合水栓（LF-E340SYC(N)-MB3）
シングルレバー混合水栓（LF-B340SYC(N)-MB3）の場合

■湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。
レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、左右どの位置にあっても止水します。

■温度を調節する

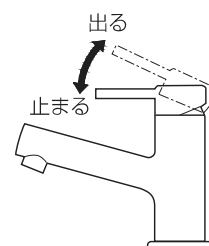
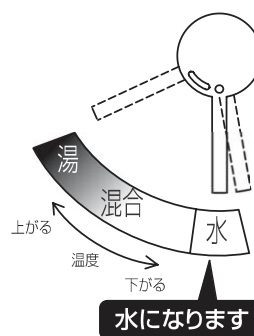
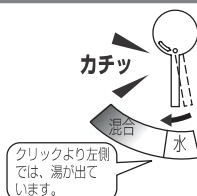
レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと
吐水温度が上がります。

ワンポイント

湯が混ざり始める
位置をクリックで
お知らせします。

⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

ご使用方法

吐水口引出式シングルレバー水栓（LF-E345SYC(N)-MB）の場合

■湯水を吐出する

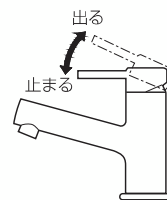
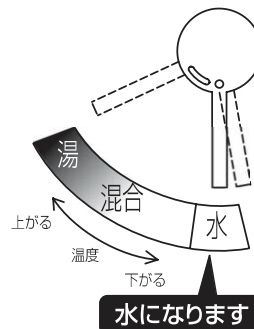
レバーハンドルを上げると吐出します。
レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、左右どの位置にあっても止水します。

■温度を調節する

レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。

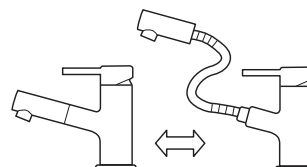
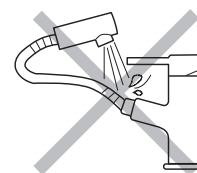
ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

■吐水部を引き出す（LF-E345SYC（N）-MBの場合）

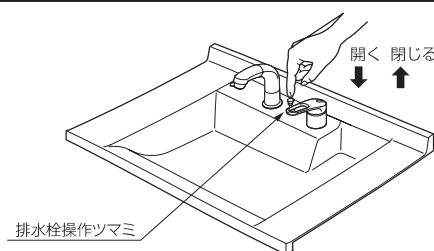
吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ず元に戻してください。

⚠ 注意

吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

排水栓を開閉する

■排水栓を開く

排水栓操作ツマミを押します。

■排水栓を閉じる

排水栓操作ツマミを引き上げます。

棚板を取り付ける

⚠ 注意

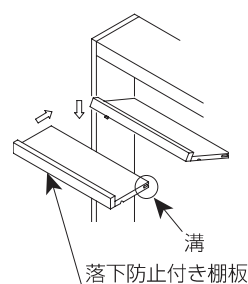
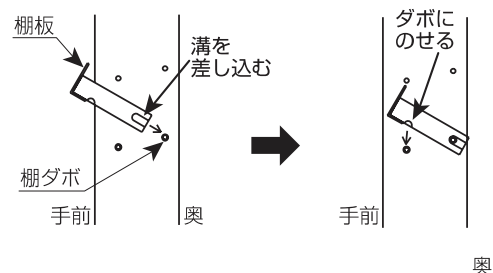
棚ダボや棚受けは奥まで確実に差し込み、棚がガタツキなどなく しっかりはまっていることを確認のうえ使用してください。

※差込みや取付けが不十分だと、棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。

棚板を取り付ける

トールキャビネット（間口150タイプ）の場合

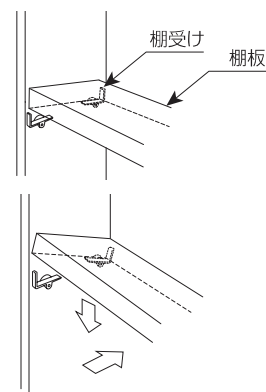
①キャビネット側面の取付穴に棚ダボ（棚1枚につき4個）をしっかり差し込みます。

※棚板の高さは棚ダボの差込位置により決まります。

②棚ダボに棚板を取り付けます。
棚板背面の溝を奥の棚ダボ(2ヶ所)に差し込んでから、裏面のくぼみを手前の棚ダボ(2ヶ所)に乗せます。

L型収納パック・対面収納用棚板の場合

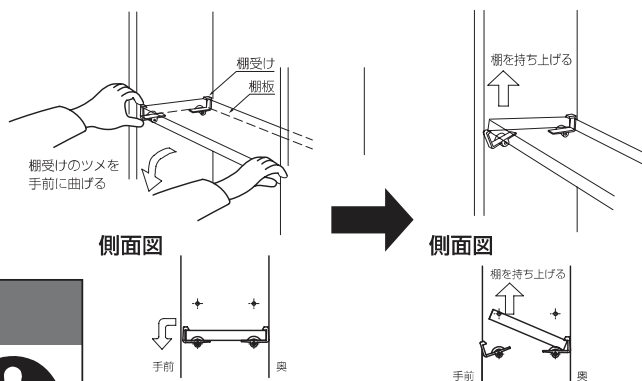
①キャビネット側面の取付穴に棚受け（棚受け1枚につき4個）をしっかり差し込みます。

①棚板を奥の棚受け（2ヶ所）にのせたまま為に倒し、手前（2ヶ所）の棚受けにのせます。

※棚板が手前と奥の棚受けにしっかりはさまれて、ガタツキなどないことを確認してください。

棚板の取外しは、取付けと逆の手順で行ってください。

棚板を取り外す

① 棚板の左右の棚受けのツメを手前に曲げながら、棚板の手前を上げます。
② 棚板をななめ上に引き抜きます。

⚠ 注意

棚板がしっかりのっていないまま使用すると、物品や棚板が落下することがあります。

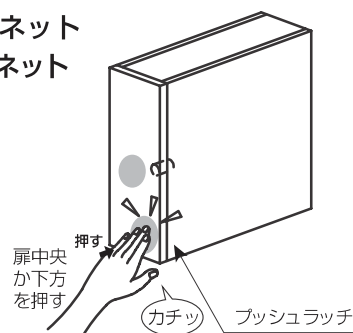
※破損やケガの恐れがあります。

扉を開閉する

扉を開ける プッシュラッチ付近を指で押すとロックが解除され､扉が開きます。

扉を閉める プッシュラッチが｢カチッ｣と音がするまで扉を押し込みます。

●ミドルキャビネット、アッパーキャビネット、トールキャビネット ランドリーキャビネット（間口調整付）、アッパーキャビネット（間口調整付）

押す
扉中央か下方を押す
カチッ
プッシュラッチ

引出しを開閉する

引出しを開ける

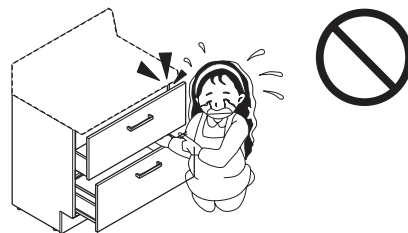
取っ手を持って手前に引き出します。

引出しを閉じる

取っ手を持って奥に押します。

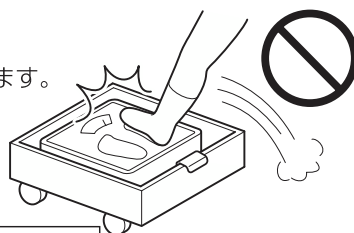
⚠ 注意

上段・下段を同時に開けない。

※上下の引出しで手をはさみ、ケガをする恐れがあります。

トールキャビネット ランドリータイプ 体重計収納の場合

●底面にキャスターが付いているので、取っ手を持って手前に引き出してください。
●上から15kg以上の荷重がかかると、キャスターのストッパーがかかり、体重計を収納したまま乗って計測することができます。（許容体重15～80kg）

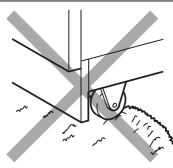
⚠ 注意

●体重計収納には勢いよく乗り降りしない。
●お子さまや体重15kg以下の方は使用しない。
※体重計収納のストッパーが利かず、転倒してケガをする恐れがあります。
●ランドリー網カゴには重いものを入れないでください。
※破損する恐れがあります。
※1個あたりの許容積載量は下記のとおりです。
※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。

スライドバスケット	4.0kg
ランドリー網カゴ	間口450mm、間口300mmキャビネット用10kg

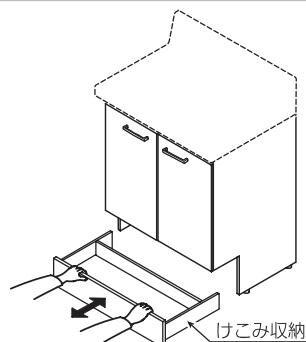
●ぬれた洗濯物などを入れないでください。
※カゴがサビたり、木部が水を含み、傷む恐れがあります。

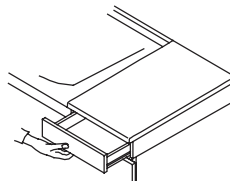
ベースキャビネット けこみ収納の場合

●底面にキャスターが付いているので、引出しの上方を持って前に引き出してください。

体重計収納やけこみ収納の前および下にカーペットやバスマットを敷かないでください。
※キャスターに糸がからみ、動きにくくなる場合があります。

けこみ収納のなかに物を入れすぎない。
許容積載量を守ってご使用ください。
※けこみ収納が破損し、ケガをする恐れがあります。
許容積載量
10cm×10cm（100cm^2）あたり0.5kg以下

けこみ収納

※許容積載量は平均的に物を乗せた場合の値になります。

サイドカウンターの場合

●引出しの下方を持って開閉します。

⚠ 注意

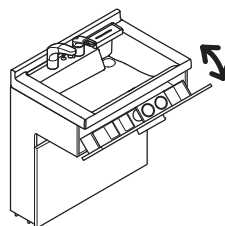
●サイドカウンター下の化粧台キャビネットの扉や引出しを同時に開けない。
※上下の引出しや扉で手をはさみ、ケガをする恐れがあります。
●サイドカウンターの天板・側板・引出しをぬれたまま放置しない。ぬれたらすぐにふき取ってください。
※木部が水を含んで、ふくらんだり表面がはがれる原因となります。

ミニパタくんを開閉する

開ける

取っ手を持って手前下に開きます。
スローダウン機構により、ゆっくり開きます。

閉じる

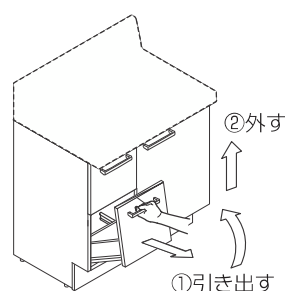
取っ手を持って閉じます。
スローダウン機構により、ゆっくり閉じます。

引出しの取外し・取付け

引出しを取り外す（引出しタイプ、サイドカウンター）

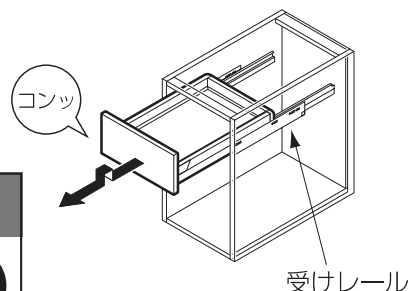
■取り外す

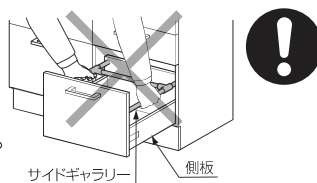
①引出しを最後まで引き出します。
②引出しを持ち上げて外します。

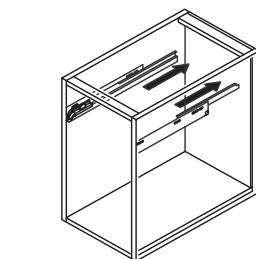
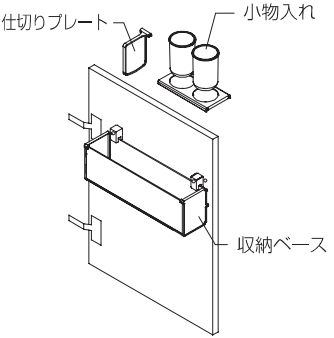
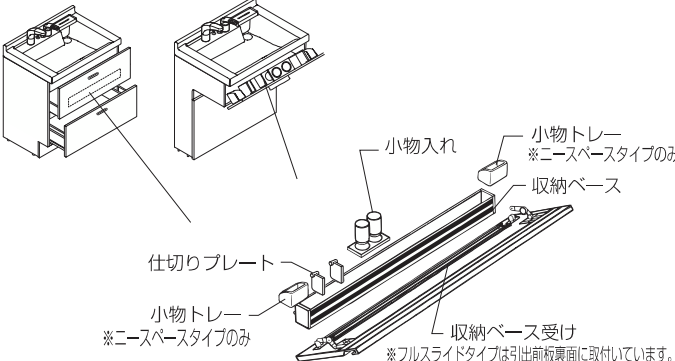
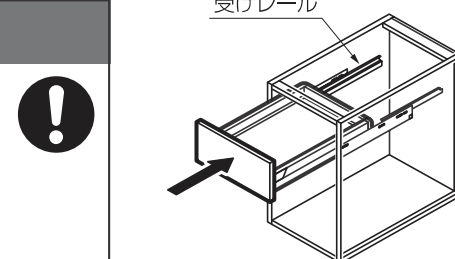
■取り付ける

取外しと逆の手順で取り付けます。

引出しを取り外す（フルスライドタイプ、トールキャビネットランドリータイプ）

■取り外す

引出しを止まるところまで引き出し、一度上に持ち上げ（コンッという音がしてロックが外れます）、さらに手前へ引き出します。

⚠ 注意

取り外す際は、引出し側板または底面を持ってください。
※サイドギャラリーを持つとパイプが引出しから外れるので、持たないでください。

■取り付ける

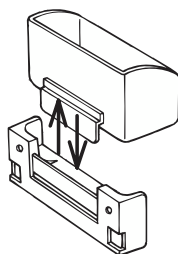
①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。
②引出しを受けレールに乗せ、奥まで押し込みます。
　その際、カチャカチッと音がしてロックされます。
③取付後、数回引出しを開閉して、ガタつきや異音がないか、持ち上げても外れないか、確認してください。

⚠ 注意

引出しを取り付けた後は、数回開閉させ、ガタつきや異音がしないかなど、正確に取り付けられていることを確認してください。
※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。

スマートポケットの使い方・取外し・取付け

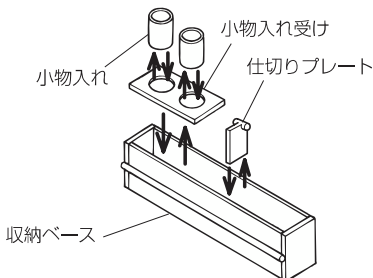
洗面台で散らかりがちな小物など、毎日よく使う物をスッキリ整理できます。
小物入れや仕切りプレートは、収納物に合わせて動かすことができます。

化粧台仕様	扉・引出タイプ	フルスライド・ニースペースタイプ
スマートポケット仕様		
収納ベースの取り外し	できません	できます

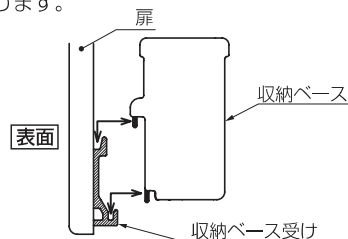
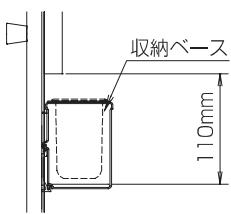
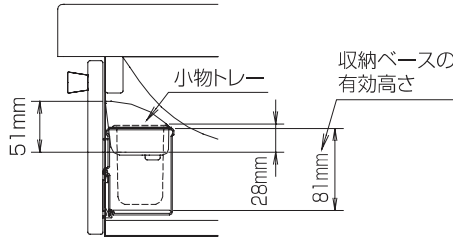
●内装部品の外し方・取付け方

小物トレー

- 小物トレーは、上方向に引上げると外れます。
- 取付けの時は、逆の手順でおこないます。

小物入れ・仕切りプレート

- 小物入れ受けや仕切りプレートを収納ベースから引上げると外れます。
- 取付けの時は、フック部が“カチッ”と音がするところまで差込んでください。
- 小物入れは、小物入れ受けに奥まで差込んで使用してください。

収納ベース

※扉・引出タイプは取り外しできません。

- 収納ベースは、収納ベース受けに引っかけています。上方向に引上げると外れます。
- 取付けの時は、収納ベース受けの溝（2ヶ所）に引っかけてセットしてください。
  ※扉内面にあててから下げるとセットしやすくなります。

注意

●収納ベースを直接カウンターの上におかない。

カウンターをキズつけるおそれがあります。

●スマートポケットの有効高さ

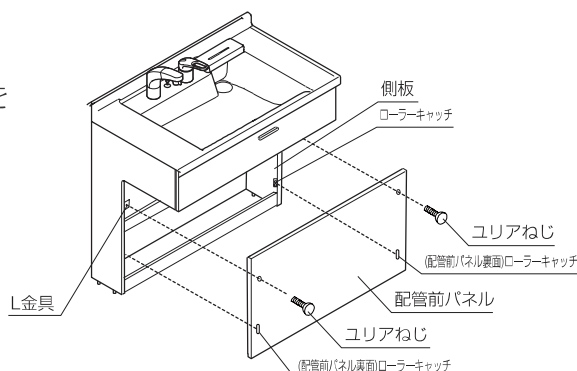
扉・引出・フルスライドタイプ	ニースペースタイプ

※小物トレーは曲線に沿った高さまでです。

●お手入れ方法はお手入れガイドの「小物類」を参照してください。

ニースペースタイプの配管前パネルの取外し・取付け

配管前パネルを取り外す

配管前パネルに取り付いているユリアねじを
外して配管前パネルを取り外します。

配管前パネルを取り付ける

①配管前パネルの裏面下側についているローラーキャッチと、
　キャビネット側板のローラーキャッチを勘合させます。
②キャビネット側板のL金具穴に合わせて
　配管前パネルの貫通穴を利用し、ユリアねじを取り付けます。

サイドカウンターの使い方

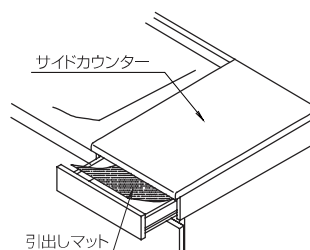
薄型引出しにメイク用品やヘアアクセサリーなど、小物をすっきり収納できます。

引出しの取外し・取付け

P.18を参照してください。

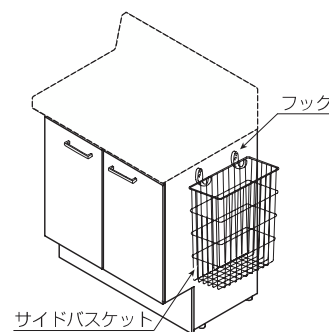
引出しマットの使い方

引出しマットは、引出し内に貼り付けして
いませんので、取り外してお手入れができます。

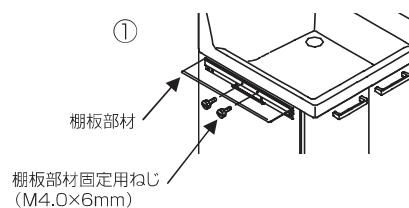
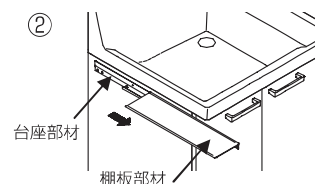
●お手入れ方法は、お手入れガイドの「小物類」を
　参照してください。

オプション機能

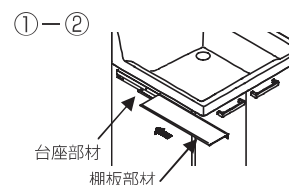
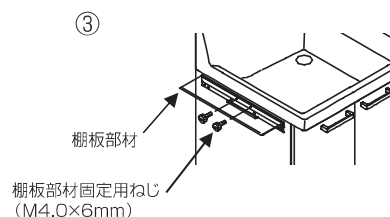
サイドバスケット（BB-TD１-23）の使い方

フックにサイドバスケットの上縁を引っ掛けます。

サイドバスケットは許容積載量(5kg以下)を守って使用してください。
※バスケットやフックが破損する場合があります。

スキマ収納（BB-AR１、BB-AR2）の使い方

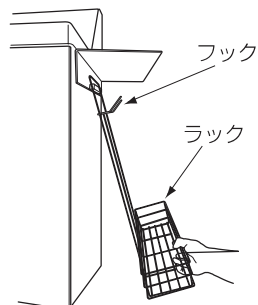
■棚板部材を取り外す

①棚板部材固定用ねじ（２本）をゆるめて取り外します。

②棚板部材を台座部材から手前に引き出します。

■棚板部材を取り付ける

①棚板部材を台座部材にはめ込みます。
②台座部材と棚板部材の前面がそろうように合わせます。

③棚板固定用ねじ（２本）を締めて棚板部材を取り付けます。

オプション機能

ラックの取付け（ＢＢ-ＡＲ2のみ）

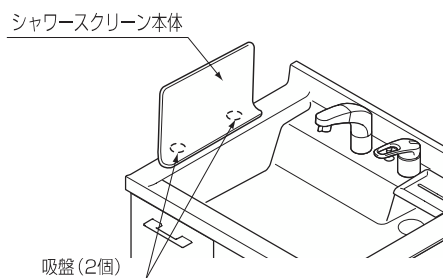
台座部材のフックにラックの上端部分を引っ掛けます。

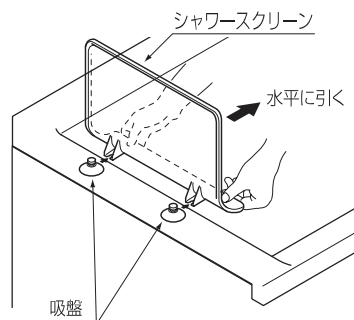
ラックの底には水受けシートを置いてください。
※床に水が浸り、ふくれ、よごれの原因となる恐れがあります。

⚠ 注意

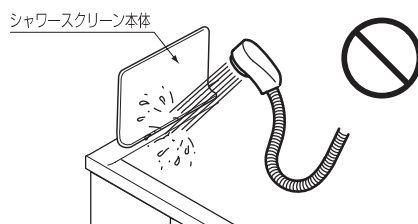
●スキマ収納は許容積載量を守ってご使用ください。
棚板部材、ラックの許容積載量は5kgまでです。
●物を乗せるときは、勢いよく乗せないでください。
●棚板部材には手をついて体重をかけないでください。
※カウンター、ラックが破損・落下しケガをする恐れがあります。

シャワースクリーン（BB-PD2）の取付け・取外し（オプション）

■取り付ける

①吸盤を取り付けるカウンターのホコリや水滴をよくふき取ります。
※取付面にホコリや水滴があると、吸盤の吸着力が弱くなります。
②シャワースクリーンに吸盤を取り付けます。
③吸盤を外側に向け、シャワースクリーンが垂直になるように、カウンターに取り付けます。

■取り外す

シャワースクリーンを内側にスライドさせて、吸盤からシャワースクリーン本体を取り外します。
※吸盤はシャワースクリーン本体を取り外した後にカウンターから取り外します。

⚠ 注意

シャワースクリーンに直接水をかけない。
※シャワースクリーンは、洗面器周囲への水はねを抑えるためのものです。洗面器から水があふれるのを防ぐことはできません。

長くお使いいただくために

⚠ 注意

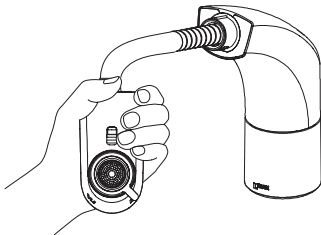
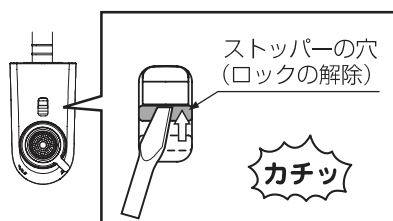
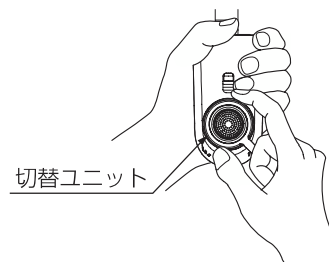
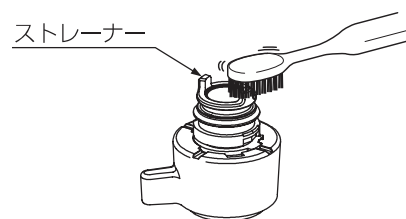
凍結が予想される場合は、つぎの対策を実施してください。
●水抜栓がない場合…水栓金具から少量の水を出したままにしてください。
●水抜栓がある場合…建築側配管と水栓金具の水抜操作を行ってください。
（33ページ参照）
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります

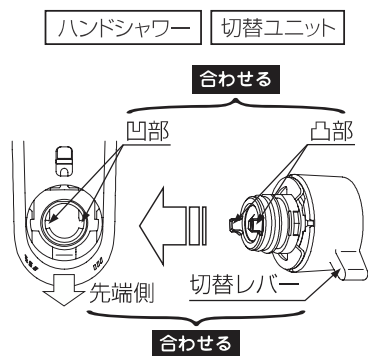
吐出量が少なくなったと感じたら

吐出口が詰まっている恐れがあります。吐出口のつまりは水栓の機能を低下させますので、水の出が悪くなったと感じたら、次の手順でお手入れしてください。
※詳細は水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

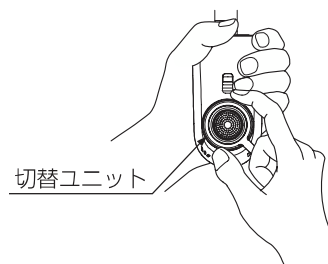
吐出口のお手入れ

SF-810SY（N）-MB3、SF-500SY（N）-MB6の場合

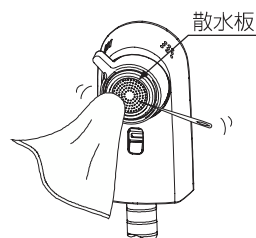
①ハンドシャワーを引き出し、裏向きにしてください。

②小型のマイナスドライバーでストッパーの穴をスライドさせて、ロックを解除します。

③切替ユニットを引っ張り、取り外してください。

④取り外した切替ユニットのストレーナーを、歯ブラシ等で掃除してください。

⑤切替ユニットの向きに注意しながら取り付けてください。

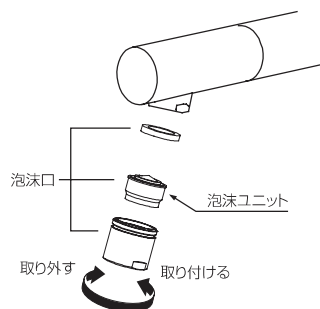
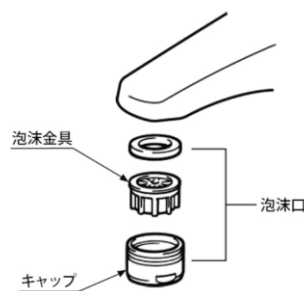
※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。
※切替レバーが、ハンドシャワーの先端側になるようにしてください。

⑥②の逆の要領で、ストッパーに穴をスライドさせてロックします。

※固くてスライドできなければ、⑤に戻り、切替ユニットをしっかりと差し込んでからやり直してください。

⑦切替ユニットを引っ張って、外れないことを確認してください。

■散水板の掃除

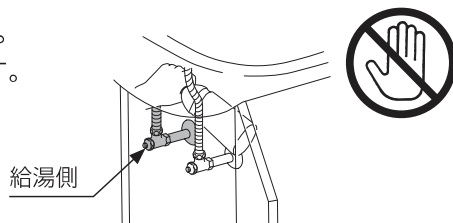
散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。
また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。

長くお使いいただくために

LF-E345SYC（N）-MB、LF-E340SYC（N）-MB3、LF-B340SYC-MB3の場合

①泡沫口の紛失を防ぐため、洗面器の排水栓を閉じます。
②泡沫口を工具（スパナまたはモンキーレンチ）で左に回し、取り外します。
※水栓に直接工具を掛けると、キズがつく恐れがあります。必ず布を当てて工具を掛けてください。
③内部のユニットを水洗いしてゴミを取り除き、元どおりに取り付けます。

〈LF-E345SC（N）-MB〉
〈LF-E340SYC（N）-MB3〉
〈LF-B340SYC-MB3〉

水量を調整する

吐出量の調整は止水栓を操作して行ってください。

⚠ 注意

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。
※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。

お願い

メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要です。
※元の位置に戻さないと設定が変わり、湯温が変化したり、洗面器から水があふれる場合があります。

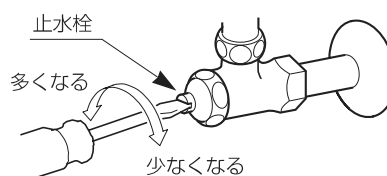
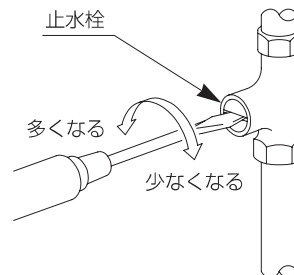
① 水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左）をマイナスドライバーで回して適量に調整します。

止水栓の操作

水量を多くする……… 調節部を左に回す
水量を少なくする…… 調節部を右に回す
閉める………………… 調節部を右に止まるまで回す

② 水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの吐出量と同じになるよう、水側止水栓（向かって右）をマイナスドライバーで回して調節します。

③ 水栓金具のレバーハンドルを中央（湯と水の中間）の位置で吐出し、水はねを確認します。

●壁給水の場合

●床給水の場合

※上記はドライバー止水栓の例です。

ワンポイント

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L/min(注1)を超えた場合は、止水栓で流量を調節してください。

（注1）8L/minの目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約25秒です。

長くお使いいただくために

扉の開閉がスムーズでないと感じたら

※あらかじめ蝶番用ダンパーが取り付いている場合は、次ページを参照し、一旦ダンパーを取り外して調節や取外し･取付けをおこなってください。

扉の調節

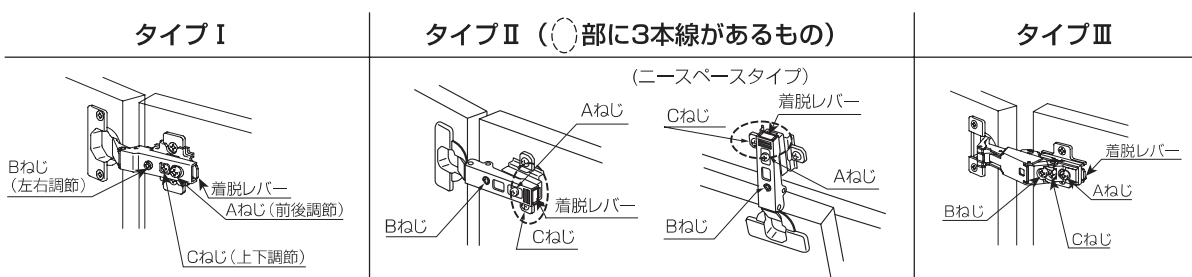
ワンポイント

- **Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。**
- **2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。**

■準備するもの

手回しプラスドライバー
【ニースペースタイプは短い(全長100mm未満)もの】

タイプⅠ

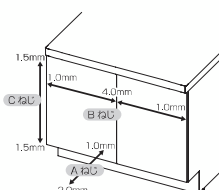
タイプⅡ（部に3本線があるもの）

タイプⅢ

注意

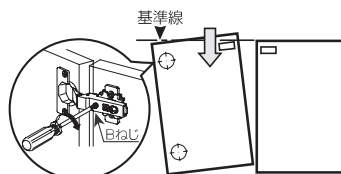
- **調節後は必ず、Aねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。**

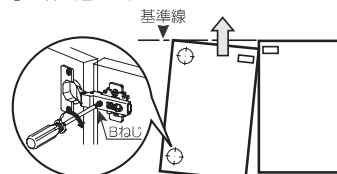
※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

各ねじの調節方向と調節量

Aねじ（前後調節）	ねじを軽くゆるめて、扉を前後に少しずつ動かして調節します。	
	タイプⅠ：	前へ2mm、後へ1mm
	タイプⅡ･Ⅲ：	前へ2mm、後へ2mm
Bねじ（左右調節）	タイプⅠ：	右へ回す→内側へ4mm
		左へ回す→外側へ1mm
【ニースペースタイプは上下調節】	タイプⅡ･Ⅲ：	右へ回す→右【下】側へ2mm
		左へ回す→左【上】側へ2mm
Cねじ（上下調節）	ねじを軽くゆるめて、扉を上下に少しずつ動かして調節します。	
【ニースペースタイプは左右調節】	タイプⅠ：	上へ1.5mm、下へ1.5mm
	タイプⅡ･Ⅲ：	上【右】へ2mm、下【左】へ2mm

※図はタイプⅠの場合。
タイプⅡ･Ⅲは全方向2.0mm

扉の先端が上がっているとき

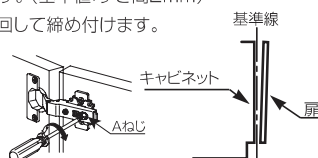
① **扉上方**の蝶番のBねじを**右**へ回して調節します。または、**扉下方**の蝶番のBねじを**左**へ回して調節します。
② 扉を閉めて位置を確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

扉の先端が下がっているとき

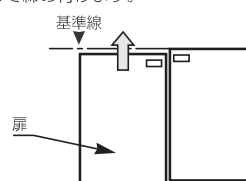
① **扉下方**の蝶番のBねじを**右**へ回して調節します。または、**扉上方**の蝶番のBねじを**左**へ回して調節します。
② 扉を閉めて位置を確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

扉と側板のすき間が上下異なるとき

タイプⅠ・Ⅲ

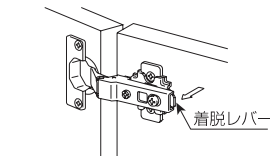
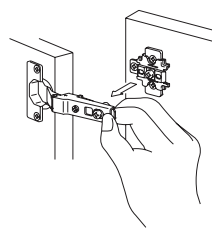
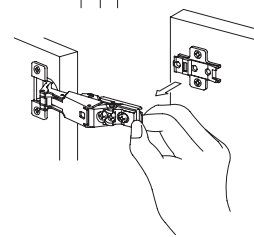
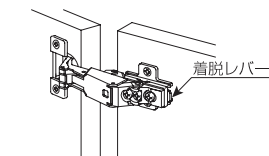
① 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。（基準値:すき間2mm）
② 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。

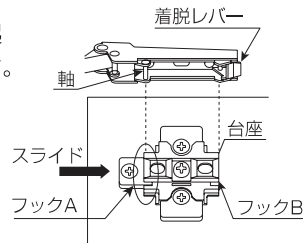
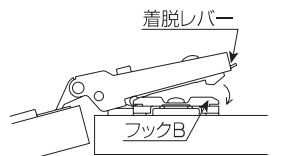
タイプⅡ

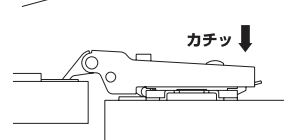
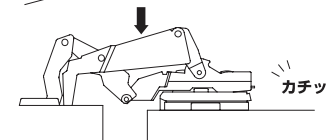
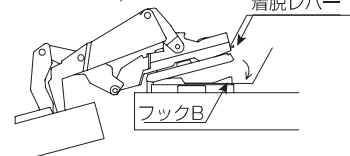
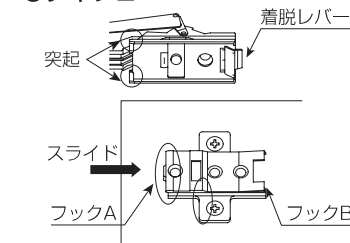
① 扉上方の蝶番のAねじを左右へ回し、扉を動かして前後の正しい位置にします。
（基準値:すき間2mm）

扉の位置が上下（ニースペースタイプの場合は左右）異なるとき

① 扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
② 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。

扉の取外し

① 着脱レバーを手前に引っ張ります。

●タイプⅠ、Ⅱ

② 蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

●タイプⅢ

扉の取付け

① 扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸または突起をフックAに引っ掛けます。

② 着脱レバーをフックBに合わせます。

③ 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。

●タイプⅠ、Ⅱ

●タイプⅢ

⚠ 注意

扉の取付後は蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認してください。

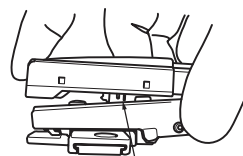
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

蝶番取付用ダンパーの着脱

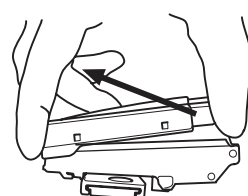
取付け･取外しの際は、必ず保護用手袋を着用して行ってください。

■蝶番取付用ダンパーの着脱方法

●取付方法

裏側に付いている茶色の爪を蝶番の窓穴の手前に当て上から押し、取り付けます。

茶色の爪を窓穴の手前に当てる

●取外し方法

親指で樹脂部を持ち上げるようにして引き、取り外します。

引出しの調節方法

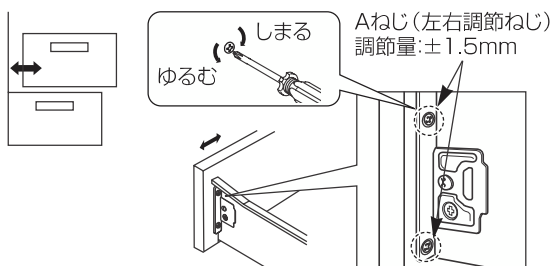
●引出しの仕様はキャビネットにより異なります。18ページで該当タイプをご確認ください。
※けこみ収納、体重計収納、サイドカウンターの引出しは調節できません。
●引出しを調整する際は、引出し内の収納物をすべて取り出してから行ってください。
●調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

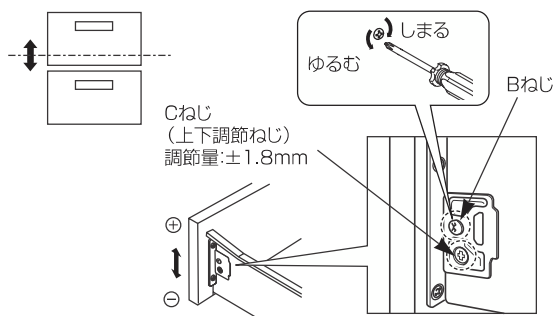
1.引出しの取外し

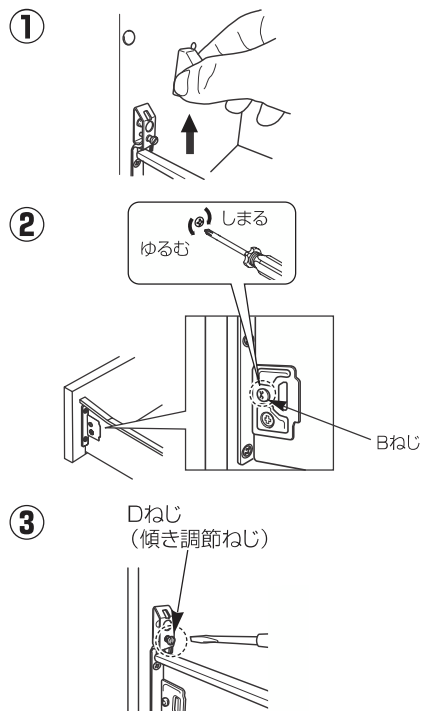
引出しの取外し、取付けは19ページを参照してください。

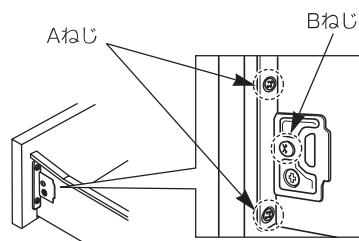
2.前板の調節

●**左右方向の調節**

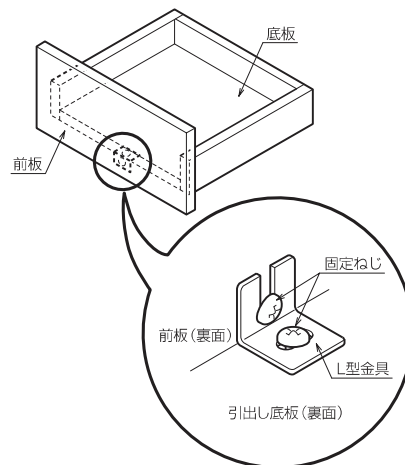
①Aねじを4ヶ所すべてゆるめます。
②引出前板を左右に動かして調節します。
③①でゆるめたAねじを固く締め付けます。

●**上下方向の調節**

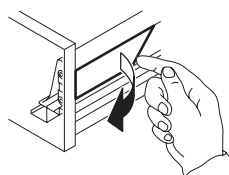
①Bねじをゆるめます。（左へ回す）
②Cねじを回して調節します。
上に動かす場合:ねじを右に回す
下に動かす場合:ねじを左に回す
③①でゆるめたBねじを固く締め付けます。

●**傾きの調節（傾き調節金具付きの場合）**

①カバーを上に引き抜いて外します。
②Bねじをゆるめます。（左へ回す）
③Dねじを回して調節します。
手前に倒す場合:ねじを右に回す
後ろに倒す場合:ねじを左に回す
④②でゆるめたBねじを固く締め付けます。
⑤①で外したカバーをはめ込みます。

⚠ 注意

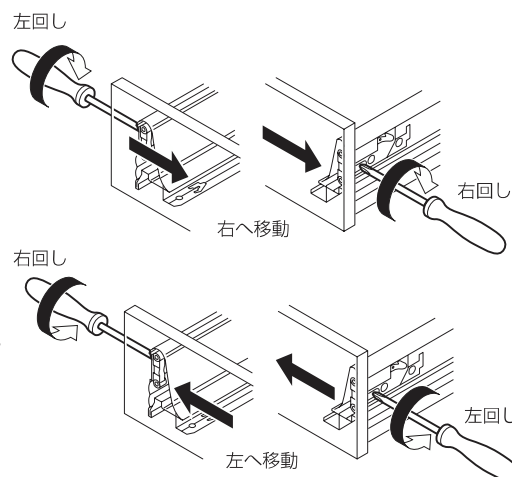
調節後、AねじBねじが固く締まっていることを確認してください。
※ねじがゆるんでいると、引出前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

ベースキャビネット（フルスライドタイプ、トールキャビネットランドリータイプ）の場合

●調節前の準備

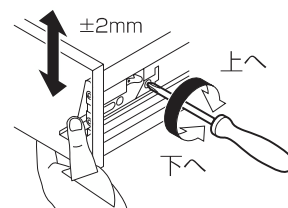
引出し前板裏面と引出し底板の間に、Ｌ型金具が取り付けてあります。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじをゆるめて（金具が動く程度）から行ってください。
また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。

●引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外します。

左右の調節

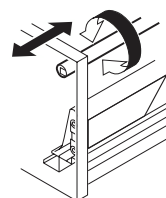
右図のように、左右調節ねじを回し調節します。
- ・右へ移動する：右側ねじを右に回し、左側ねじを左へ回す。
- ・左へ移動する：右側ねじを左に回し、左側ねじを右へ回す。

※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方向へ各1mm（計2mm）程度。

上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回し調節します。
- ・上へ移動する：ねじを右へ回す。
- ・下へ移動する：ねじを左へ回す。

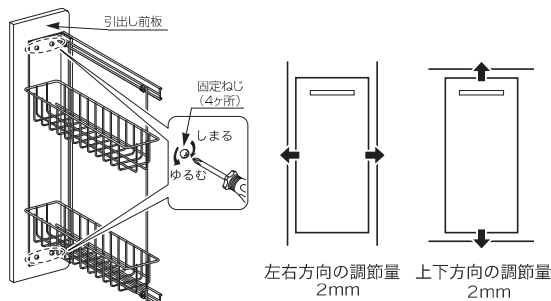
※調節範囲：上下方向に各2mm（計4mm）程度。

前板の傾き調節

右図のように、サイドギャラリー（パイプ）を回し前板の傾きを調節します。
- ・前板を手前へ倒す：左へ（前板正面から見て）回す。
- ・前板を後方へ倒す：右へ（前板正面から見て）回す。

※サイドギャラリー後方の樹脂部品（グレー色）のねじ部にすき間が残りますが、このすき間は調節しろです。

トールキャビネット（間口150タイプ）

●引出し前板を左右・上下へ調節する

① 前板調節部の固定ねじをすべてゆるめます。

② 引出し前板を上下左右に動かして正しい位置にします。

③ ①でゆるめた固定ねじを固く締め付けます。

> **⚠ 注意**
>
> **調節後は必ず、固定ねじが固く締め付けられていることを確認してください。**
>
>
>
> **※ゆるんでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。**

ベースキャビネット（引出しタイプ）の場合（※GJから始まる品番のみ）

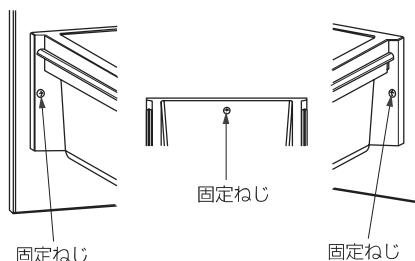
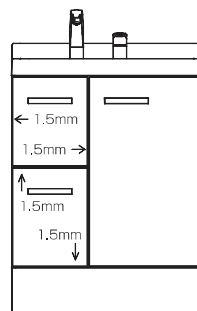
●引出しの取外け・取外し方法

・19ページをご参照ください。

●引出しの調整方法

固定ねじを軽くゆるめて、引出し前板を少しずつ動かして調整します。

左右調整　右へ1.5mm、左へ1.5mm
上下調整　上へ1.5mm、下へ1.5mm

①引出しを取り外します。
②図の位置にある左右中央の固定ねじを
　手もみのドライバーでゆるめます。
③左右上下に調整します。
④手もみのドライバーで固定ねじを締め付けます。
⑤引出しを取り付けます。
⑥正しい位置になるまで繰り返します。

プッシュ扉が開閉しにくいと感じたら

扉と本体のすき間が適切でないと、扉を開閉しにくいことがあります。
プッシュラッチの出を調節してすきまを調節してください。

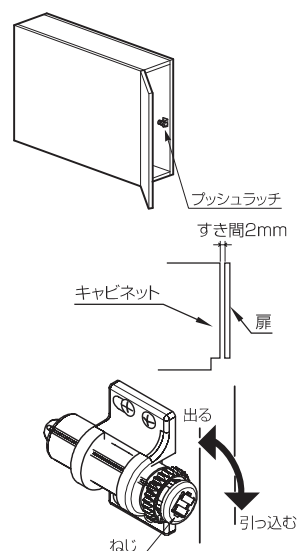
① 扉と本体のすき間を確認して、プッシュラッチを調節します。
（基準値:すき間2mm）

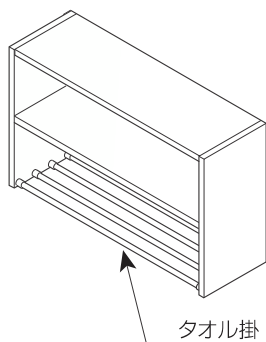
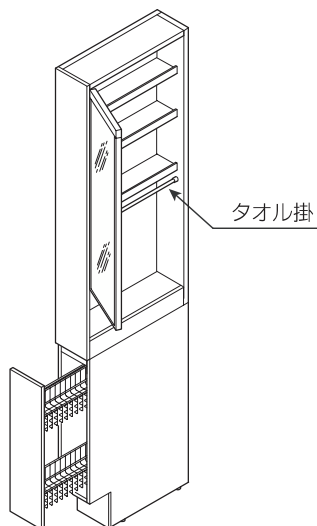
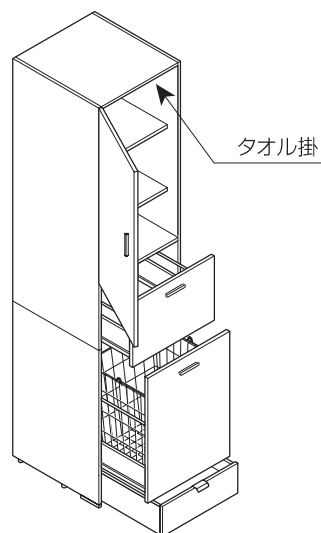
扉が閉まらない（反発して開く）

プッシュラッチのねじを右に回し、すき間を小さくします。

扉を押しても開かない

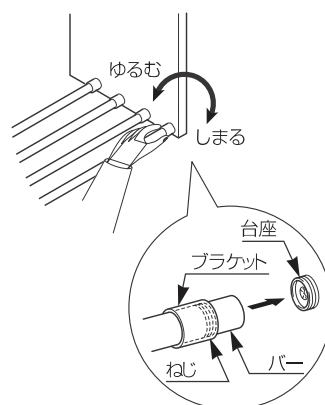
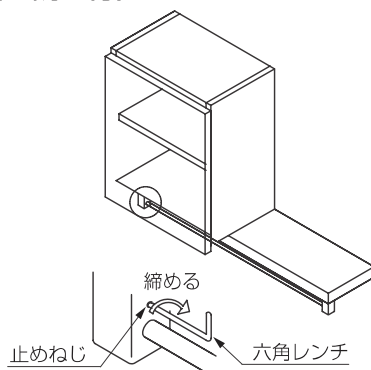
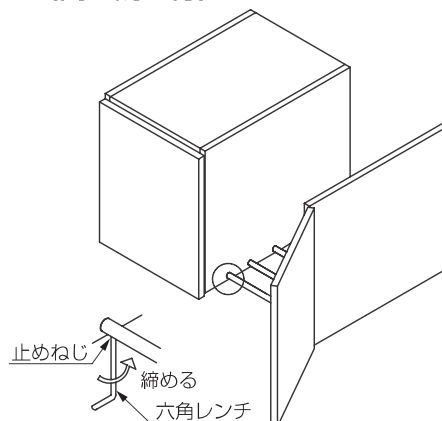
プッシュラッチのねじを左に回し、すき間を大きくします。

② 扉を開閉してプッシュラッチが正しく動作するか確認します。

タオル掛がゆるんできたら

● ランドリーキャビネット

●150サイズ
トールキャビネット

●トールキャビネット
ランドリータイプ

タオル掛がゆるんできたら

ブラケットは、ねじ構造となっています。
ブラケットを右に回して締めなおしてください。

タオル掛が外れたら

1. バーにブラケットを通します。
2. バーの片側を台座に合わせて、ブラケットを右に回してゆるめに仮付けします。
3. バーの反対側も②と同様に取り付けます。
4. 左右のブラケットを締めなおしてしっかり固定します。

●ランドリーキャビネット
（間口調整付）

●アッパーキャビネット
（間口調整付）

タオル掛がゆるんできたら

止めねじを六角レンチで右に回して締めなおしてください。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓の水抜き（寒冷地仕様）

⚠ 注意

凍結が予想される場合は、下記の手順で必ず水抜きを実施してください。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

シングルレバーシャワー水栓（SF-810SYN-MB3）

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

③ 水抜栓Ⓑの下に洗面器等をあてがった後、水抜栓Ⓑを矢印の方向に回して開ける。

※そのまま30秒間放置する。

※洗面器等で排出される水を受けてください。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

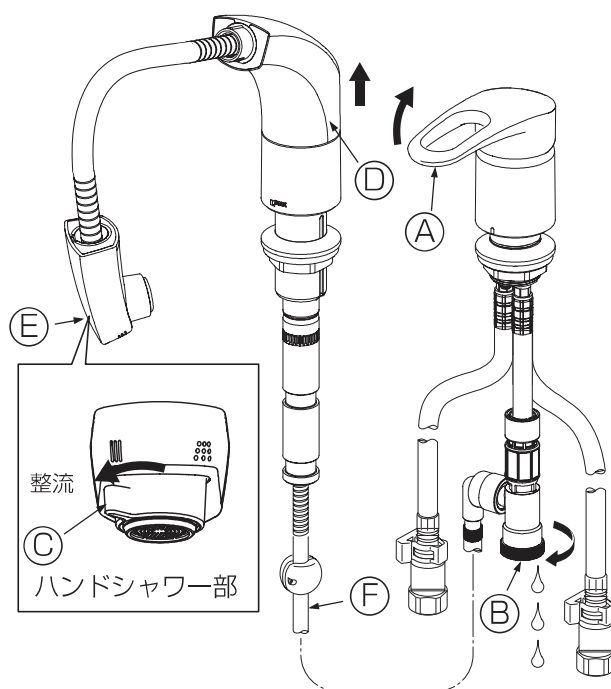
⑤ 吐水口レバーⒸを整流に切り替える。

⑥ ガイド管Ⓓを引き上げ、ハンドシャワーⒺを引き出し、振って水をよく切る。

⑦ ホースⒻを水抜栓Ⓑより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

⑧ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルⒶを閉める。

※水抜完了後は忘れずに水抜栓Ⓑを閉めてください。

長くお使いいただくために

吐水口引出式シングルレバー混合水栓（LF-E345SYCN-MB）の場合）

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

③ 水抜栓Ⓓの下に洗面器をあてがった後、水抜栓Ⓓを矢印の方向に回して開ける。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

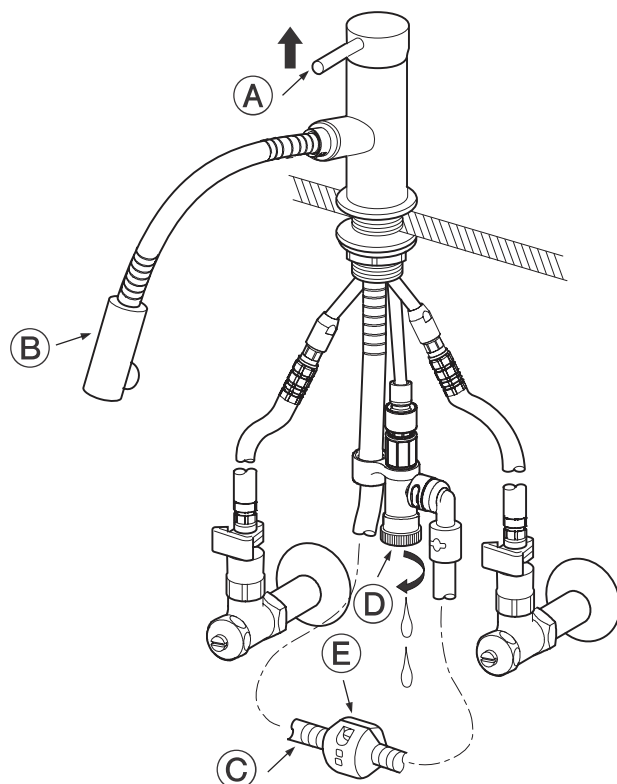
⑤ 吐水口部Ⓑを引き出し、振って水をよく切る。

⑥ ホースⒸを水抜栓Ⓓより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

⑦ 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルⒶを閉める。

※開けたまま放置するとレバーハンドルⒶを閉止できなくなることがあります。
無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※水抜き完了後は忘れずに水抜栓Ⓓを閉めてください。

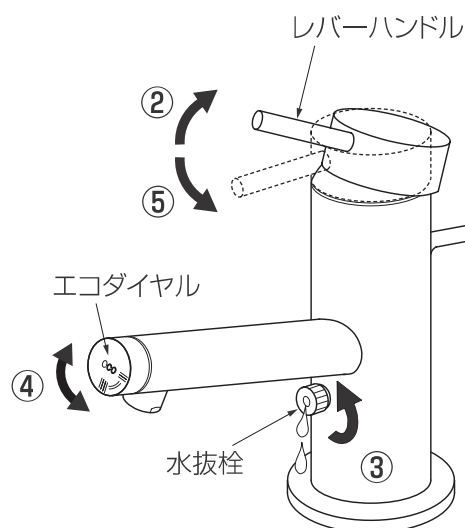
※ホースストッパーⒺを外した場合は、元の位置に取り付けてください。

シングルレバー混合水栓（LF-E340SYCN-MB3）

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルを中央位置にあわせて上げます。
（水と湯の中間で全開にする。）

③ 水抜栓を下に回して開けます。

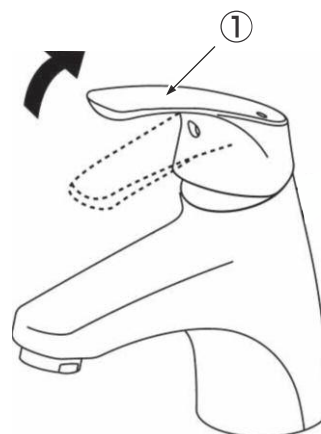
④ エコダイヤルを2〜3回左右に回します。

⑤ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルを閉めます。
※開けたまま放置すると、凍結してレバーハンドルを閉止できなくなることがあります。
その場合は無理な操作をせず、通水または自然解凍してください。
※再通水前には水抜栓を閉めてください。

シングルレバー混合水栓（LF-B340SYC-MB3）

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドル①を上げる。（水、湯の中間で全開）

③ 水栓の水が抜けたらレバーハンドル①を閉める。
※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

ホース収納式シングルレバーシャワー水栓（SF-500SYN-MB6の場合）

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、
水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げます。

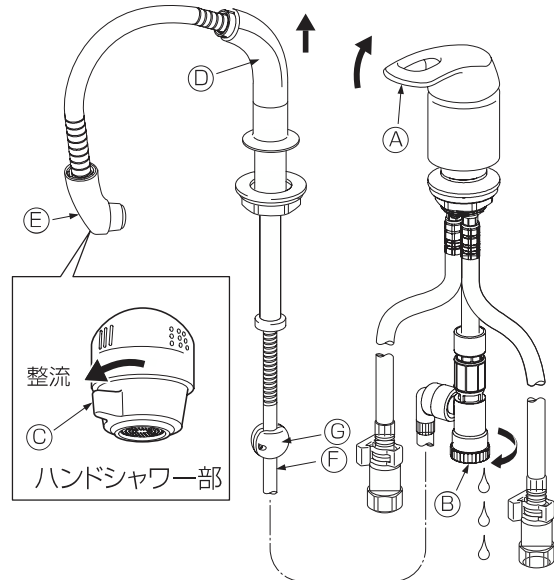
③ 水抜栓Ⓑの下に洗面器等をあてがった後、水抜栓Ⓑを矢印の方向に回して開ける。
※そのまま30秒間放置する。
※洗面器などで排出される水を受けてください。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側までの間を往復します。

⑤ 吐水口レバーⒸを整流に切り替える。

⑥ ホースⒻを水抜エルボⒷより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜きます。

⑦ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルⒶを閉めます。

⑧ 水抜きの完了後は水抜エルボⒷを閉めます。
※ホースストッパーⒼがホースガイドⒸの下にくるようにホースⒻを取り付けてください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■ キャビネット

Q	A	処置	参照ページ
扉がガタついている	蝶番がゆるんでいる	蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら、調節します	P27
扉の先端が下がっている		扉のずれを調節します	P27
扉の先端が上がっている			P27
扉と本体のすき間が上下で異なる			P27
扉の位置が上下異なる			P27
プッシュ式扉の開閉が滑らかでない	プッシュラッチの調節が十分でない	ラッチの調節をします	P31
引出しの開閉が滑らかでない	引出し前板がずれている	引出し前板のずれを調節をします	P29~30
ランドリーキャビネットのタオル掛がゆるんできた	タオル掛のブラケットがゆるんでいる	ブラケットを固定しなおします	P32

■ 水　栓

Q	A	処置	参照ページ
吐出量が少ない（水の勢いが弱い）	止水栓が十分開いていない	止水栓を左に回して開けます	P26
	ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのそうじをします	P24~25
	給湯機器の能力切替が低めに設定されている（給湯の能力が不足している）	給湯機器の能力を高く設定します（給湯機器の取扱説明書を見てください）	
	浴室などで湯を使っている	他の場所で湯を使わないようにします	
水が止まらない	パッキンの寿命や傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P39
水を止めた後に、少しの間水が垂れる	構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される	故障ではありません	

■ 排水口

Q	A	処置	参照ページ
水がたまらない	排水栓の変形、パッキンの傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P39
洗面器から水があふれる	止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P26
排水しない、あるいは排水がスムーズでない	排水口が詰まっている	排水口をそうじします	★
	排水管が詰まっている	排水管をそうじします	★
排水栓が開閉しない	ゴミや砂がかんでいる	排水栓やヘアキャッチャーをそうじします	★

■ 排水管

Q	A	処置	参照ページ
漏水する	排水管の接続がしっかり締め付けられていない	締付ナットをしっかり締めます	★
	排水管のパッキンの傷み・変形	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P39

※★については「お手入れガイド」をご覧ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(37ページ)を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
取扱説明書どおりにご使用されても、まだご不明な点がある場合は、当社お客さま相談センターにご相談ください。

警告

改造や修理技術者以外による分解・修理は行わないでください。
※漏水や感電、発熱・発火による火災の恐れがあります。

保証書をご覧ください

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ 、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも以下の内容によって生じた異常などについては保証の対象となりませんのでご注意ください。

- ●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- ●取付後の改造移動その他変更により生じたもの
- ●火災地震その他天災地変により生じたもの
- ●水栓金具の止水パッキンなどの消耗品

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番←1ページの「品番を調べる」参照
●取付年月日(保証書に表示)
●故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)←37ページの「故障かな?と思ったら」参照
●ご訪問希望日
※お客さまからご連絡頂く氏名や住所などの個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客様の個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、LIXIL修理受付センターに連絡してください。

●お求めの取扱店（保証書に表示）
●LIXIL修理受付センター
TEL 0120-1794-11
受付時間 9:00～20:00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年間です。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承願います。
※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

洗面化粧台

■化粧台本体の品番一覧

		品番					
間口750	扉タイプ	GR1N-755SY(N)-A	GR1N-75B5Y(N)-A	GR1N-75E5Y(N)-A	GR1N-75E5HY(N)-A	GJ1NK[T]-755SY（N）	GJ1NK[T]-755S(8)Y（N）
	引出タイプ	GR1H-755SY(N)-A	GR1H-75B5Y(N)-A	GR1H-75E5Y(N)-A	GR1H-75E5HY(N)-A	GJ1HK[T]-755SY（N）	GJ1HK[T]-755S(8)Y（N）
	フルスライドタイプ	GR1FH-755SY(N)-A	GR1FH-75B5Y(N)-A	GR1FH-75E5Y(N)-A	GR1FH-75E5HY(N)-A	GJ1FHK[T]-755SY（N）	GJ1FHK[T]-755S(8)Y（N）
	ニースペースタイプ	GR1FO-755SY(N)-A	GR1FO-75B5Y(N)-A	GR1FO-75E5Y(N)-A	GR1FO-75E5HY(N)-A	—	—
間口900	扉タイプ	GR1N-905SY(N)-A	GR1N-90B5Y(N)-A	GR1N-90E5Y(N)-A	GR1N-90E5HY(N)-A	GJ1NK[T]-905SY（N）	GJ1NK[T]-905S(8)Y（N）
	引出タイプ	GR1H-905SY(N)-A	GR1H-90B5Y(N)-A	GR1H-90E5Y(N)-A	GR1H-90E5HY(N)-A	GJ1HK[T]-905SY（N）	GJ1HK[T]-905S(8)Y（N）
	フルスライドタイプ	GR1FH-905SY(N)-A	GR1FH-90B5Y(N)-A	GR1FH-90E5Y(N)-A	GR1FH-90E5HY(N)-A	GJ1FHK[T]-905SY（N）	GJ1FHK[T]-905S(8)Y（N）
	ニースペースタイプ	GR1FO-905SY(N)-A	GR1FO-90B5Y(N)-A	GR1FO-90E5Y(N)-A	GR1FO-90E5HY(N)-A	—	—
間口1000	扉タイプ	GR1N-1005SY(N)-A	GR1N-100B5Y(N)-A	GR1N-100E5Y(N)-A	GR1N-100E5HY(N)-A	GJ1NK[T]-1005SY（N）	GJ1NK[T]-1005S(8)Y（N）
	引出タイプ	GR1H-1005SY(N)-A	GR1H-100B5Y(N)-A	GR1H-100E5Y(N)-A	GR1H-100E5HY(N)-A	GJ1HK[T]-1005SY（N）	GJ1HK[T]-1005S(8)Y（N）
	フルスライドタイプ	GR1FH-1005SY(N)-A	GR1FH-100B5Y(N)-A	GR1FH-100E5Y(N)-A	GR1FH-100E5HY(N)-A	GJ1FHK[T]-1005SY（N）	GJ1FHK[T]-1005S(8)Y（N）
	ニースペースタイプ	GR1FO-1005SY(N)-A	GR1FO-100B5Y(N)-A	GR1FO-100E5Y(N)-A	GR1FO-100E5HY(N)-A	—	—
間口1200	扉タイプ	GR1N-1205SY[L/R](N)-A	GR1N-120B5Y[L/R](N)-A	GR1N-120E5Y[L/R](N)-A	GR1N-120E5HY[L/R](N)-A	GJ1NK[T]-1205SY（N）	GJ1NK[T]-1205S(8)Y（N）
	引出タイプ	GR1H-1205SY[L/R](N)-A	GR1H-120B5Y[L/R](N)-A	GR1H-120E5Y[L/R](N)-A	GR1H-120E5HY[L/R](N)-A	GJ1HK[T]-1205SY（N）	GJ1HK[T]-1205S(8)Y（N）
	フルスライドタイプ	GR1FH-1205SY[L/R](N)-A	GR1FH-120B5Y[L/R](N)-A	GR1FH-120E5Y[L/R](N)-A	GR1FH-120E5HY[L/R](N)-A	GJ1FHK[T]-1205SY（N）	GJ1FHK[T]-1205S(8)Y（N）
	ニースペースタイプ	GR1FO-1205SY[L/R](N)-A	GR1FO-120B5Y[L/R](N)-A	GR1FO-120E5Y[L/R](N)-A	GR1FO-120E5HY[L/R](N)-A	—	—
水栓金具		シングルレバー シャワー水栓	シングルレバー 混合水栓	シングルレバー 混合水栓（eモダン）	シングルレバー 混合水栓　吐水口引出式 （eモダン）	シングルレバー シャワー水栓	シングルレバー シャワー水栓
排水器具		ポップアップ式排水栓　ヘアキャッチャー付					
本体		木組構造（パーティクルボード、合板）					
カウンター		人造大理石（ポリエステル樹脂系）					
洗面ボウル容量		11L					
扉色		スムースホワイト　WW2 スムースブルー　WK2 クリエペール　LP2 クリエモカ　LM2 クリエダーク　LD2 クリエホワイト　LW2 クリエラスク　LL2 グロスホワイト　QH2 グロスホワイト　YS2 パストラルブラウン　XK2 フェールレッド　XA2 ホワイト　VP1 ブラウン　VR1					
付属品		排水トラップ、排水アダプター、排水プレート、オーバーフロー口ヘアキャッチャー※、偏芯管※					

※：GR1から始まる品番のみ

アフターサービス

■化粧台本体の品番の見方

G R 1 F H T - 1 2 0 5 S Y N L - A U K G L / Q H 2 G

①GR1 ②FH ③T ④120 ⑤5SY ⑥N ⑦L ⑧A ⑨U ⑩K ⑪GL ⑫QH2 ⑬G

① GR1：シリーズ名　ミズリア
GJ1：シリーズ名　MR

② N：扉タイプ
H：引出タイプ
FO：ニースペースタイプ
FH：フルスライドタイプ

③ K：ハンドル取っ手タイプ
T：取っ手レスタイプ（※GJのみ）

④ 75：間口750mm
90：間口900mm
100：間口1,000mm
120：間口1,200mm

⑤ 5SY：シングルレバーシャワー水栓
B5Y：シングルレバー混合水栓
E5Y：シングルレバー混合水栓（eモダン）
E5H：吐水口引出式シングルレバー混合水栓（eモダン）
5S（8）Y：シングルレバーシャワー水栓

⑥ 記号なし：一般地仕様
N：寒冷地仕様

⑦ 記号なし：洗面器配置中央
L：洗面器配置左寄せ（W1,200の場合のみ）
R：洗面器配置右寄せ（W1,200の場合のみ）

⑧ 記号なし：ソフトサイレンスなし
A：ソフトサイレンスあり

⑨ 記号なし：高さ800mm
D：高さ750mm
U：高さ850mm

⑩ 記号なし：けこみ収納なし
K：けこみ収納あり

⑪ 記号なし：標準仕様
G：引出タイプドア枠逃がし（左側チリ15mm）
GL：フルスライドタイプドア枠逃がし（左側チリ15mm）
GR：フルスライドタイプドア枠逃がし（右側チリ15mm）

⑫ QH2：グロスホワイト
XA2：フェールレッド
XK2：パストラルブラウン
LD2：クリエダーク
LM2：クエリモカ
LL2：クリエラスク
LP2：クリエペール
LW2：クリエホワイト
WW2：スムースホワイト
WK2：スムースブルー
VP1：ホワイト
VR1：ブラウン
YS2　グロスホワイト

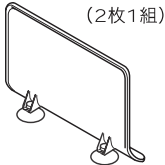
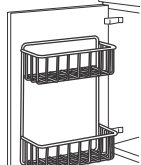
⑬ G：洗面ボウル色　グラニットネオホワイト
B：洗面ボウル色　サンドストーンベージュ
H：洗面ボウル色　プレーンネオホワイト

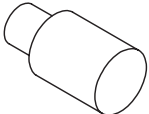
■その他のキャビネット
■共通項目

本体	木組構造（合板、パーティクルボード）
扉色	QH2 ： グロスホワイト XA2 ： フェールレッド XK2 ： パストラルブラウン LD2 ： クリエダーク IM2 ： クリエモカ LL2 ： クリエラスク LP2 ： クリエペール LW2 ： クリエホワイト WW2 ： スムースホワイト WK2 ： スムースブルー VP1 ： ホワイト VR1 ： ブラウン YS2 ： グロスホワイト

品名	アッパーキャビネット							
品番	GRU-155C LCJU-155C-J	GRU-255C LCJU-255C-J	GRU-305C LCJU-305C-J	GRU-455C LCJU-455C-J	GRU-755C LCJ1U-755C-J	GRU-905C LCJ1U-905C-J	G(A)RU-1005C LCJ1U-1005C-J	G(A)RU-1205C LCJ1U-1205C-J
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	150×490×400	250×490×400	300×490×400	450×490×400	750×490×400	900×490×400	1000×490×400	1200×490×400
付属品	—							

品名	アッパーキャビネット(間口調整付)		アッパーキャビネット(ダウン機構付)	
品番	GRU-655FL(R) LCJU-655FL(R)-J	GRU-755FL(R) LCJU-755FL(R)-J	GRU-755W LCJ2U-755W-J	GRU-905W LCJ2U-905W-J
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	650×490×400	750×490×400	750×490×400	900×490×400
付属品	—			

品名	ミドルキャビネット	ミドルキャビネット （鏡扉タイプ）	ランドリーキャビネット(間口調整付)		ランドリーキャビネット		トールキャビネット	
品番	GRK-252-A LCJK-252-J	GR1K-302ML(R)-A	GRK-652FL(R)-A LCJK-652FL(R)-J	GRK-752FL(R)-A LCJK-752FL(R)-J	LCVKO-652	LCVKO-752	GRS-155ML(R)	LCJ2SK[T]-155L(R)
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	250×225×400		710×225×400	810×225×400	650×208×400	750×208×400	150×490×1900	150×490×1900
付属品	棚板（1枚）	棚板（2枚）	棚板（1枚） タオル掛（1個）	棚板（1枚） タオル掛（1個）	タオル掛（4個）	タオル掛（4個）	棚板（2枚）	棚板（3枚）

品名	トールキャビネット			ランドリーキャビネット		姿見トール
品番	GRS-255-A LCJ2SK[T]-255-J	GRS-305-A LCJ2SK[T]-305-J	GRS-455-A LCJ2SK[T]-455-J	GR1S-305DL(R)-A LCJ1SK[T]-305DL(R)-J	GR1S-455DL(R)-A LCJ1SK[T]-455DL(R)-J	GRS-305ML(R)-A LCW1S-305ML(R)
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	250×490×1900	300×490×1900	450×490×1900	300×490×1900	450×490×1900	300×490×1900
付属品	棚板（2枚）	棚板（2枚）	棚板（2枚）	棚板（2枚） 網カゴ（1個） タオル掛（1個）	棚板（2枚） 網カゴ（1個） タオル掛（1個） 体重計収納	棚板（2枚） 網カゴ（3個）

品名	スキマ収納カウンター	スキマ収納カウンター ラックセット	エンドパネル 化粧台本体用 （扉・引出・フルスライドタイプ）	エンドパネル 化粧台本体用 （ニースペースタイプ）	エンドパネル アッパー キャビネット用	エンドパネル ミドルキャビネット用	エンドパネル トールキャビネット用
品番	BB-AR1	BB-AR2	BB-GRE025	BB-GRE025FO	BB-GRE025U	BB-GR1E025K	BB-GRE025S
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	470×130×60	470×130×600	17×535×855	17×535×855	15×485×400	15×220×840	15×485×1900
付属品	—	—	—	—	—	—	—

品名	L型収納パック (両側パネル)	L型収納パック (両側＋対面収納)	L型用棚板	対面収納キャビネット		
品番	LCWS-2513SE	LCWS-2517S	BB-LCW-T130/W	LCWS-372SA	LCWS-372SAN	LCVB-752SA
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	960~1360×250×1900	1305~1705×275×1900	1300×250×30	375×275×1900	375×275×1900	750×275×800
付属品	—					

※高さ対応（＋50mm）：本体品番末尾「-U」
※高さ対応（－50mm）：本体品番末尾「-D」
※けこみ収納　　　　：本体品番末尾「-K」（高さ対応（－50mm）には対応していません。）

アフターサービス

オプション品・交換部品

品名	サイドバスケット	シャワースクリーン	扉用バスケット（フック付）
品番	BB-TD1-23	BB-PD2	BB-EX5
主な材質	鉄線PEコーティング	HIPS樹脂	鉄線PEコーティング
サイズ(mm)（幅×奥行×高さ）	230×425×530	400×66×202	200×100×300
外観		（2枚1組）	
	※商品の使い方は、21ページをご参照ください。		
価格	￥4,700	￥5,800	￥1,500

品名	サイドワゴン（脱衣カゴタイプ）	サイドワゴン（収納棚タイプ）	スキマ収納用ラック
品番	BB-FCW60A	BB-FCW60T	BB-AR2-R
主な材質	鉄線PEコーティング	鉄線PEコーティング	ステンレス・チューブ付
サイズ(mm)（幅×奥行×高さ）	225×430×450	225×430×450	394×550×128
外観			
価格	￥18,000	￥18,000	￥8,000

品名	スタイリッシュチェア	棚受け（4個入り）	棚受けダボ（4個入り）
品番	BB-HD6	JBS-544	BTD-1
主な材質	スチール	ー	ブロンズメッキ
サイズ(mm)（幅×奥行×高さ）	467×396×620	55×10×25	φ6×16
外観	430~542		
価格	￥42,000	￥1,000	￥120

品名	ヘアキャッチャー	ヘアキャッチャー	仕切りプレート	小物入れ	小物入れ受け
品番	LF-GR-HC	LF-AR-HC	SSPシュウノウベースシキリ	SSPカトラリースタンド	SSPカトラリーウケ
主な材質	ー	ー	ABS樹脂	ABS樹脂	ABS樹脂
サイズ(mm)（幅×奥行×高さ）	67×67×77	67×67×97	24×64×82	54×80	135×67×8
外観					
価格	￥2,800	￥2,800	￥200	￥300	￥250

※価格は2013年2月現在のものです。（税別）
※仕様･価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

交換部品およびオプション品の購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください
交換部品の名称、品番が不明のときは、当社お客様相談センターにおたずねください。

販売店などで購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の販売店で お求めください。	LIXILパーツショップ 水まわり部品販売の 宅配サービスにて承ります。 (宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。) **0120-126-015** 受付時間9：00～17：00 （土·日·祝日、年末年始·夏期休暇を除く）

廃棄について

洗面化粧台、その他のキャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番:ミズリア、MR		
保証期間 取付日より　2ヶ年		取付日 年　月　日
お客さま	おなまえ おところ おでんわ (　　)　ー	取扱店名 TEL (　　)　ー

無効

お客さまへ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは、LIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
(2) 取付説明書などに基づかない取付けに起因する不具合
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙､塩害､砂塵､各種金属粉､硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬､猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9) 天災地変（火災､爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
(10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
(13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15) 給水・給湯配管の錆､砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　６ヶ年です。

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00　FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター

TEL 0120-1794-11 受付時間　9:00～20:00
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。

袋:PE

GMB-0401（14072）